

129
7
22

東 京 圖 書 館

和書門	國史類	二二九函	二一〇架	三八號	七冊
-----	-----	------	------	-----	----

敷田年
治標注

古事記標註

中卷之上

也、社者檢校諸社也、とあり、九上代より冠婚葬祭を始り萬事神事、
開らざる
そのあり、故祭り、清直の心を以て、神に仕奉るを云、其取政事、
まき、祭政同
 語あり由を知カレ 故到豐國宇沙之時、其土人名宇ナハ
 沙都比古、宇沙都比賣此十字 二フク
 人作足一騰宮而獻大御饗テ
ハ、紀ふ於菟狹川、上造一柱騰宮とあり、菟狹川ハ、宇佐郡の中央を北に流る大
 河なり、俗に驛館川と云、此川は傍て、拜田村と云、所ハ、川より八町許隔る、宇足
 上と云、地、即此行宮の舊趾、當時一時倉卒の設まらば、床低くして、一足ふ
 て上り、御飯屋ありと云、宮号として傳、たると、一、然、ハ記傳ハ、一
 柱と書り、書紀の虛文、ハ泥、今世の工も、えも及ばず、ハま、い、ハ造、ハ状
 小説、ハせり、論、ハ足、ハぬ、ハ辨、ハ説、ハと、ハ具、ハ神、ハ代、ハ紀、ハ見、ハ正、ハを、ハ宇、ハ佐、ハ嶋、ハを、ハと、ハ此
 地、ハ説、ハ寄、ハを、ハ具、ハ原、ハ氏、ハの、ハ八、ハ幡、ハ本、ハ記、ハの、ハ誤、
 を、ハ考、ハを、ハ委、ハを、ハ宇、ハ佐、ハ官、ハ雜、ハ微、ハハ記、ハ一、ハフ
 ○岡田宮、紀ふ、自其地遷移而於竺紫之岡田宮、

門とあり、岡田宮、
 統前國郡名遠、
 賀あゆれど、岡田と云、
 國之多祁理宮、
 一年坐、亦從其國、上幸而於阿岐、
 紀ふ、
 亦從其國、遷上幸而於吉備之高嶋宮、
 八年坐、故從其國、上幸之時、
 乘龜甲、為釣乍、打羽舉來人、遇于速吸門、爾喚歸、問之、汝者誰也、
 其衣中、里而、
 和羅鳴、故號其地、
 一、
 和名抄、
 シル、
 ○古事記標注中卷之上、
 ○二

まど、所狹れば略す。○速吸門ハ、豊後国海部郡ニ在リ、此
記ニ行幸の次第を記シ、紀ノ菟狹の前ニ在るを正しす

○国神上ノ法、マラシキ
リ記傳ノ名宇
答曰僕者國神、又問汝者知海道

豆毘古ノ五字
を補、まど此記
乎、答曰能知、又問從而仕奉乎、答

ふも然名傳も
らむ○稿字も、
曰仕奉故爾指度稿、機引入其御

サヲと訓むべ
一、紀ノ稿ノ作
船即賜名號、稿報津日子、此者倭

まじり、機ノ靈異
記ノ和加都利祖
之

注、和名抄ノ機巧之處をよみ、字書ノ機字をアヤツルともツルカクルと
も、よえれば、危き竿上を機とフ、波ヲを云、記傳ノ稿機ノ二字を合て、サヲと
訓、ハ非ふる、○倭国造ハ、

国造本紀の傳、もあらず
○浪速、紀ノ有、
奔潮太急、因、以

故從其國、上行之時、經浪速之渡

名、為浪速、國亦
白浪華、今謂難

而、泊青雲之白肩津

波訛、あり難波ハ義を以て書ク、是をナニハとよむも、難ハ考字ノ所屬
みて、奈行ノ韻、今按津國、河邊郡ニ、難波村ありて、東西ニ分ち、西成郡

あり同名ノ村ありて、是をバ、難波と呼、倭、久按、大坂あり、尼崎ノ邊ニ上代も
廣く、難波と云、○青雲、枕詞にて、白雲を云、祝詞ニ、青雲能、靄、とも、あり、

いよく、白物、青とりの、白馬、を、青馬とも書ク、○白
肩津考、あり、○泊、舟の着を云、故、泊瀬、海小舟を冠せし

○登美ハ地名
あり、式ハ大和
此時、登美能、那賀須泥毘古、自登

國、城上郡、登彌
神社あり、同郡
音、興軍、待向、以戰、爾取、所入、御

○那賀須泥毘
古ハ、縣ノ長キ也
於、今者、云、日下之、蓼津也

孝徳紀、ハ、八拘脛と云、人名も見ゆ、○日下ハ、續紀廿九、河内國、河内郡、人、
下、部、意、卑、麻、呂、と云、人見、古、今も同郡、昭下村あり、○蓼津、詳、多、但、上

○古事記標注中卷之上
○三

不見巨名、白肩津、又此夢津也、云津ハ船の滞る處を云ふを記傳ふ、河内郡あり、日下ニ船の通ふ地ありトトて、和名抄ハ和泉國、大鳥郡、郡名日部と見え、地ハ説附け上ふ出たり、地名等と、皆和泉國の海辺ニ在ると云ふ、非ハ紀ハ遼流而、徑至河内國草香邑云々、と云ふ字見づ、遼流ハ三代實錄十八ハ見巨名、大和川あり、河内國の中央を北ハ流き、草香邑遠くハ、西ハ西北ハ折き、茨田郡を経て、淀川ハ落入一を、元録十七年春和泉國坂の北ハ、疏導せしを、後ハ地圖

○登美毘古ハ、於_レ是_ニ與_ニ登美毘古_ト戰_ニ之時_ト、五瀨命_ト那賀須泥毘古_ト、於_レ御手_ニ負_ニ登美毘古_ト之_レ痛_ニ矢串_ト、故_ニ身_トを貫_リ、矢_トを云_フ○向日而_テ戰_ハ、日_カ下_リ、爾_レ詔_フ吾_ハ者_ハ爲_ニ日_ノ神_ノ之_レ御_子、向_レ日_而、大和_ノ方_ハ向_テ戰_ハ不_レ良_ハ、直東_ハ當_リて、此_日下_リ山_を越_ス、立_田生_駒あり、紀_と照_{して}見_づ、日_下を、クサカと訓_ふ、此_日御_古事_ハ、因_り、猶_別ハ思_ふ、下_卷ハ注_す

○賤奴_ハ賤_ノ字_を、記傳_ふ、ヤツコ、トト例_ハ、あ_そとて、二字_を合_テ訓_ふ、まど、扱_ハ卑_リ、惡_シ、終_ハ語_勢を失_へ、故_ハ姑_ハ、訓_ハ從_ム○痛_ハ、手_ハ仲_底、段_ハ、和_流、玖_麻、賀_伊、多_豆、波_受、液_ト、あ_ハ、手_ハ、俗_ハ、深_キ、手_ハ、負_ハ、あ_ハ、云_フ、手_ハ、○血_ハ、沼_ハ、紀_ハ、茅_津、作_ス、欽_明、紀_ハ、泉_郡、茅_津、とあり、和泉志

故_ハ負_ニ賤_ノ奴_ト之_レ痛_ニ手_ト、自_レ今_者、行_テ迴_リ而_テ、背_ニ負_ニ日_ト以_テ擊_ク期_而、自_レ南_方、迴_リ幸_ニ之_レ時_ト、到_リ血_ノ沼_海、洗_ハ其_レ御_手之_レ血_ト、故_ハ謂_フ血_ノ沼_海也、從_ニ其_レ地_ト、迴_リ幸_ニ到_リ紀_ノ國_ノ男_ト之_レ水_ノ門_而、詔_フ負_ニ賤_ノ奴_ト之_レ手_ト乎_ト、死_ス爲_ニ男_ト建_テ而_テ崩_リ、故_ハ號_フ其_レ水_ノ門_{謂_フ男_ト水_ノ門_也、陵_即在_ニ紀_ノ國_ノ之_レ竈_山也}

○男_ノ水_ノ門_式、和泉國、日根郡、男神社あり、○崩_ハ、御_魂、日_ノ之_レ少_宮、上_リ、を云_フ、神_功、紀_ハ、聞_キ、惡_事、之_レ言_坐、婦_人、乎_ト、何_レ言_速、狹_狹、騰_也、とあり、神_名、之_レ速_狹、騰_也

と申しを崩さず、聞混ひ、思ひ入り、抑人して死て、一度ハ産果日神の御許
小参上る予の定まらぬ證ありを、記傳ふ人ハ死まハ底津根目ニ罷る予あり
を、天皇を始奉り、其文忌憚て、死を云て、天ニ上り坐すといふ云と云、まじ其ハ謝ふた
らぬ、非説く、爰及といひ、何意ども、死すハ裏表の、あるづまのりも然云、人
も死て、神ニ成し云、るハ及ふて、仏ふるる予ありを其を忌惡して、仮ふ其及を
云、久と云、むろ左も右も、記傳の、黄泉の觀ハ、聞も胸より、○竈山、諸陵式
不在、紀伊国名草郡北城東
西一町、南北二町、とあり

○熊野ハ、紀伊
國牟婁郡ノ名
義ハ、此の大熊
小因まじり、○髮
ハ借字あり、神
あり、此記の序
小、化熊と記し
紀小神吐毒氣
あじ併思ふ、莫の熊ふハありて、荒振神の、熊ハ化ちり、まじり、大熊神といふ
此記ハ、神を髮ふ借字ハ、例もあきと、古書不、然、何心あり書

故神倭伊波禮毘古命、從其地、迴
幸、到熊野村之時、大熊髮、出入即
失、爾神倭伊波禮毘古命、後忽爲
遠、延及御軍皆、遠延而伏、遠延以音

とむく察也、然例ハ外も有り、○出入の、入字ハ、凡を誤まら、予決し、序ハ、も化
熊出凡とあり、怒まら、状ハ、○後忽、紀ハ、儵忽ハ、作事ハ、同字ハ、班固賦ハ、展儵忽
其不再、師古注ハ、儵、疾也、とあり、○遠延、紀ハ、人物成、解、景行記
ハ、疾、臥ともあり、性氣を失ふ状ハ、○伏し、上ハ、病、臥在、とあり

○高倉下、紀ハ
倉下、此云、衛羅
餌とあり、舊事
紀ハ、饒速日命
兒、天、香語山命
一名高倉下命
とあり、○夢ハ
寢見ハ、○伊多
致ハ、万葉ハ、甚
大痛、あじ訓ハ
る意ハ、○佐夜
藝、紀ハ、宜擾を
よ、女、ハ、騷、ぎふ
お、多、ト、○不、平

此時、熊野之高倉下、此者、齋一橫
刀、到於天神御子之伏地而獻之
時、天神御子、即寢起、詔長寢乎、故
受、取其橫刀之時、其熊野山之荒
神、自皆爲切仆、爾其惑伏御軍、悉
寢起之、故天神御子、問獲其橫刀
之所由、高倉下答曰、已夢云、天照

遺集、押點を
隠して、箸鷹の
招餌、ひせむし、
構、たる、荒、弩、動
す、荒、と、
く、機、ハ、字書
ハ、ツルカクルと注せり、
オシの一具、紀、殿内、
ハ、動、足、觸、機、あ、ま、ど、
ハ、よ、つ、是、俗、オ、ト、シ、
大伴連、ハ、上、
注せり、○道臣
命、紀、大伴、氏
之、遠、祖、日、臣、命
云々、改、汝、名、為、
道、臣、姓、氏、録、高
志、連、條、ハ、高、魂
宇陀能多加紀

宇迦斯射返天神御子之使將為
待攻而聚軍不得聚者作殿其内
張押機將待取故參向顯白

爾大伴連等之祖道臣命久米直
等之祖大久米命二人召兄宇迦

斯罵詈云伊賀以此音所作仕奉
於大殿内者意禮以此音先入明

白其將為仕奉之狀而即握橫刀

之手上、矛由氣、此二字、矢刺而追

入之時、乃已所作、押見打而死、爾

即控出、斬散、故其地、謂宇陀之血

原也

然而、其弟宇迦斯之、獻大饗者、悉

賜其御軍、此時、歌曰、宇陀能多加

爾ハ守陀之高 紀爾志藝和那波留和賀麻都夜

城ヲ志藝 和那波留ハ鳴 志藝波佐夜良受伊須久波斯久

捕ハミテ爾 治良佐夜流

賀麻都夜ハ我待ヤめて我トハ羅を張ル人ヲ云テ夜ト下ヘ言テ續クヤカク○

志藝波佐夜良受ハ鳴ト不障ナリ万葉五ノ伊奈カ等思騰許良爾佐夜利奴是

ハ御ウク思ツド子等ハ隣西ウクサハルハ少ナド○伊須久波斯ハ鯨ノ

鯨ノ枕詞ニ和名枚重岐嶋重岐郡郷名ハ鯨伏トアリハイサグシトヨビ

同目風土記ハ鯨伏郡昔者鯨駕追鯨鯨走來隱伏故云鯨伏云々俗云鯨為伊佐

トアリ伊佐ト伊須ト通テ鯨ハ鯨云語ニ○久治良佐夜流ハ鯨障ニテ兄宇迦

斯を鯨ハ臂給 古那美賀那許波佐婆多知曾婆

和名抄ハ前妻 能微能那祁久袁許紀志斐惠泥

集廿六ハ中ノ及磯ノヨリ老モカクぬ身ヲ沖ノオモクヤ誰をよましくむ

小波を前妻ハよませり○那許波佐婆ハ魚記者ヲ美言ト○多知曾婆能微能

記傳ハ契沖ガ並柳枝之貴之ニト云テトハ一ハ大舍人式ハ曾婆木ニ來ト

あり此木記伊同熊野ハ所ノと樂名備考ハ記セリ西都賦ハ鯨後トソバクシ

ト訓ミ後ハ貴ノ状ノ中ハ是ハ次ノ向ノ序ニ○那祁久ハ考テ強ク貴ノ熟

一ト稱シテ由ル和クをト云テ○許紀志ハ延佳ガ幾許ト旁注ニ加テ

幾許を然ス例ハ見ダシト姑從フ○斐惠泥ハ記傳ハ礼記礼運ハ

豚同少儀ハ聶而切之為膾トアリハヨリテ薄折テ斐惠ト云テ此説ハ

宇波那理賀那許波佐婆伊知佐
加紀微能意富祁久袁許紀陀斐
惠泥

○疊々、記傳ふ
惡み疎む聲と
云、音引ハ長
引延て、歌ふを
云、○志夜ハ、
此者朝喚者也

をうーヤのシヤハおまー
○胡志夜ハ、まうーヤの畧ふて、道理不分明の夫ふ
耳、土佐日記ふふ君の、病者本より、あうくーき、人うてあうやうのうりうりふ
まうざまう、原氏初音ふまうくーく、ゆまがふ、笑ひ終りて云々、猶身うり、志
夜ハ、上ふあう、記傳ふ是を遠胡志夜の、遠を省りうて、表加志夜ふおまー、
と云、まど、初言の表を省りう、例あう、又表加志を、表胡志と、云るをも聞ず○伊
基能布曾、まの語未、考ず、但、疊々志夜、胡志夜の、注ふまむ、惡と朝う、意の、古言
ふ、ぶー○阿々志夜ハ、私記ふ阿々を、喚声と注せり○朝喚ハ、阿々志夜、胡志
夜の注え、扱疊々云々阿々云々の十四言ハ上の御歌ふ、加て軍人の誦ひいと
聞や、其し音引
故其弟宇迦斯、此者、宇陀、水、自其
地、幸行、到忍坂大室之時、生尾土

雲、訓云、八十建、在其室、待伊那流

人佐々木春夫
云、河内国淡川
郡四條村、此三字
神武堤と云、以、音

十九日の夜、其村の産神の拜殿ふて、其社ふ由り、家の人々礼服を著し相並
高聲ふエイクラ、と三度唱、神酒を飲て退く、是を西と云、即此條の
古傳の遺も、あやと云、久年治案ふ此古事を四條村ふ説、寄むも、い、
聞やまど、有、説も、乗がとり、れハ筆、因ふ、注、つ、彼、エイクラ、と云、内宮年中
行事ふ見、志太良、奉まうし、聞や、彼志太良、ふ、ま、も、厭、此、疊々志
夜、胡志夜の、祭、奠ふ、遺、て、此、処、も、傳、り、を、ま、づ、
○水取、和名抄ふ、主水
司、毛比止里、及豆加、佐、り、職員、令、主水司、水部、四十人、と見也○自其地ハ、
宇陀、より、
○忍坂、和名抄ふ、大和国城上郡、郷名忍坂、於佐加と注せり○大室
ハ、廣、大、く、造、た、る、家、
○土雲、ハ、上代諸國、居て、王命、
其、常、ふ、土、小、穴、を、掘、て、住、る、也、
然、云、久、常、陸、風、土、記、國、集、の、注、
俗、語、曰、都、知、
久、母、又、旦、夜、都、賀、波、岐、云、々、按、小、國、集、ハ、大、和、
賦、ハ、
常、陸、ふ、て、ハ、土、雲、の、一、名、
傳、を、久、夜、都、賀、波、岐、
ハ、
道、行、る、の、疾、
意、ま、づ、
猶、塵、添、埃、囊、抄、ニ、の、六、十、一、段、
記、せ、る、を、常、陸、風、土、記、
照、し、て、見

登り、○曾泥、爾波、賀美良、比登、母登、曾泥、賀母
 之、莖、ふて、以上、序、○曾泥、米、都那、藝豆、宇知、豆志、夜
 都那、藝豆、其、根、芽、認、而、を、即、繫、ま、て、し、聞、り、
 一、が、登、美、昆、古、が、部、を、認、ぎ、披、て、残、ら、ざ、撃、む
 と、く、○加、岐、母、登、爾、も、於、垣、下、し、○宇、惠、志、波、士、加、美、も、所、植、莖、ふ、て、今、の、生、美、を、云、名、義、ハ、辛、也、多、不、齒、意、さ、り、
 ○久、知、比、々、久、ハ、呼、疼、ふ、て、御、意、を、脚、一、め、ひ、一、程、を、譬、と、し、上、ハ、序、の、ミ、○和、
 礼、波、和、須、礼、士、ハ、我、者、不、忘、し、又、歌、曰、加、牟、加、是、能、伊、勢、能、宇、美、
 ○加、牟、加、是、ハ、神、風、ふ、て、息、と、能、意、斐、志、爾、波、比、母、登、富、呂、布、志、
 士、宇、知、豆、斯、夜、麻、牟、加、美、久、知、比、比、久、和、禮、波、和、須、禮、
 古、良、賀、加、岐、母、登、爾、宇、惠、志、波、士、
 加、美、久、知、比、比、久、和、禮、波、和、須、禮、
 士、宇、知、豆、斯、夜、麻、牟、
 登、爾、も、於、垣、下、し、○宇、惠、志、波、士、加、美、も、所、植、莖、ふ、て、今、の、生、美、を、云、名、義、ハ、辛、也、多、不、齒、意、さ、り、
 ○久、知、比、々、久、ハ、呼、疼、ふ、て、御、意、を、脚、一、め、ひ、一、程、を、譬、と、し、上、ハ、序、の、ミ、○和、
 礼、波、和、須、礼、士、ハ、我、者、不、忘、し、又、歌、曰、加、牟、加、是、能、伊、勢、能、宇、美、
 ○加、牟、加、是、ハ、神、風、ふ、て、息、と、能、意、斐、志、爾、波、比、母、登、富、呂、布、志、

續けたる、枕詞、
 ○伊勢能、宇、美、能、ハ、伊勢、海、之、○意、斐、志、爾、ハ、大、石、の、切、し、○波、比、母、登、富、呂、布、ハ、延、廻、の、延、た、る、ま、り、廻、る、を、モ、ト、ホ、ル、
 と、云、る、も、古、哥、の、例、多、し、○志、多、陀、美、能、ハ、細、螺、之、之、小、如、の、意、を、含、ま、て、見、し、
 ズ、此、細、螺、を、和、名、抄、ふ、貌、似、甲、贏、而、細、小、口、有、白、玉、蓋、者、也、と、云、り、東、雅、ハ、志、ハ、
 石、ハ、多、陀、美、ハ、重、疊、ま、り、と、云、ら、し、云、ら、し、津、守、因、基、集、ふ、を、云、ら、し、も、あ、れ、姑、母、さ、え、
 も、蛤、も、あ、き、集、め、たり、と、云、ら、し、云、ら、し、○伊、波、比、母、登、富、呂、
 の、伊、ハ、發、語、ふ、て、延、廻、し、其、ハ、御、軍、の、統、圖、に、た、り、状、を、詔、す、
 ○凡、師、木、の、兄、ハ、兄、弟、ハ、名、著、
 云、ら、し、上、代、の、常、人、師、木、ハ、大、和、國、の、地、名、さ、り、
 を、後、小、郡、名、と、
 あり、て、上、下、小、介、置、す、○多、々、
 良、比、多、多、加、閑、婆、和、禮、波、夜、惠、奴、
 夜、麻、能、許、能、麻、用、母、伊、由、岐、麻、毛、
 疲、爾、歌、曰、多、多、那、米、豆、伊、那、佐、能、
 又、擊、兄、師、木、弟、師、木、之、時、御、軍、誓、
 云、ら、し、上、代、の、常、人、師、木、ハ、大、和、國、の、地、名、さ、り、
 を、後、小、郡、名、と、
 あり、て、上、下、小、介、置、す、○多、々、
 良、比、多、多、加、閑、婆、和、禮、波、夜、惠、奴、

那米豆ハ、捕並
而、射、不、保、
志、麻、都、登、理、宇、上、加、比、賀、登、母、伊、
也、枕、詞、と、見、
も、
て、も、
ねど、只、捕、を、並、
宇、陀、郡、山、路、村、上、方、と、云、
能、麻、欲、多、都、登、利、能、と、あ、り、
比、の、伊、ハ、發、語、み、て、行、候、を、延、云、
礼、波、夜、惠、奴、し、吾、者、や、
、當、を、言、義、し、
、然、不、物、食、し、ぬ、を、
集、不、饑、伊、比、尔、宇、々、と、注、
實、し、食、し、で、
理、ハ、嶋、津、島、に、て、
之、祖、と、あ、り、其、人、等、を、
詔、し、總、て、泥、と、云、し、願、意、
風、ハ、花、の、ま、き、
あ、く、て、見、
ねど、只、捕、を、並、
宇、陀、郡、山、路、村、上、方、と、云、
能、麻、欲、多、都、登、利、能、と、あ、り、
比、の、伊、ハ、發、語、み、て、行、候、を、延、云、
礼、波、夜、惠、奴、し、吾、者、や、
、當、を、言、義、し、
、然、不、物、食、し、ぬ、を、
集、不、饑、伊、比、尔、宇、々、と、注、
實、し、食、し、で、
理、ハ、嶋、津、島、に、て、
之、祖、と、あ、り、其、人、等、を、
詔、し、總、て、泥、と、云、し、願、意、
風、ハ、花、の、ま、き、
あ、く、て、見、

○近藝速日、紀
不、能、速、日、と、作、
り、稱、名、し、此、
神、を、舊、事、紀、
天、火、明、命、の、御、
子、と、傳、
姓、氏、錄、
神、部、
其、
紀、
御、表、
御、
見、
ハ、近、々、藝、命、を、申、
名、
注、
之、
因、
○古事記標注中卷之上
○十四

故、爾、通、藝、速、日、命、參、赴、白、於、天、神、
御、子、聞、天、神、御、子、天、降、坐、故、追、參、
降、來、即、獻、天、津、瑞、以、仕、奉、也、故、通、
藝、速、日、命、娶、登、美、毘、古、之、妹、登、美、
夜、毘、賣、生、子、宇、摩、志、麻、遲、命、
總、積、臣、
祖、也、
物、部、

○近藝速日、紀
不、能、速、日、と、作、
り、稱、名、し、此、
神、を、舊、事、紀、
天、火、明、命、の、御、
子、と、傳、
姓、氏、錄、
神、部、
其、
紀、
御、表、
御、
見、
ハ、近、々、藝、命、を、申、
名、
注、
之、
因、
○古事記標注中卷之上
○十四

るを、後上下
分置○渥咋
式小嶋下郡溝
作神社あり、今
溝枕、莊とも云、
まが、人名の地
名とまやたり
○勢夜陀多音
此二字以
下效此

良比賣の勢夜、大和志平群郡勢野村あり、太子傳曆不、勢夜里とあるも、此地あり、字鏡、華字を、太々良女、と注せり、内膳式、雜菜、中ふ、多々良比賣花搗三斗、とり、是ら此ふ、由あり、名ふや○美和、大和国、城上郡の地名○大物主神も、式小同郡、大神大物主神社とありて、大宛年遷命の和魂を祭まて物とい、上の物部、下ふ、注さる如し○大便、縣居翁の訓め、ふ従ふ、是を、カハヤニ、イルと訓きて、此記の例違つて、景行、段ふ、公願之時とあり、を見づ○丹塗矢、丹以て彩り、矢より、づ、山城風土記ふも、見ゆあり○溝流下も、ミゾと訓べ、溝、水の流下、処あれ、義を以て書り○富登、陰門ふて、上ふ注り○伊須、爾其美人、驚而立走、伊須須岐伎須岐、大殿祭詞

此五字、乃將來其矢、置於床邊、忽
成麗壯夫、即娶其美人、生子名、謂
富登多々良、伊須須岐比賣命、亦
名、謂比賣多々良、伊須氣余理比
賣、是者、惡其富登也
故是以、謂神
御子也

氣余理比賣の伊須氣、伊須々岐の略轉、余理、親
心詞、よて、依頼、ふ、あ、紀、埃、踏、踏、五十、鈴、埃、ふ、作リ
○高佐士野、
大和志、十市
於、是、七、媛、女、遊、行、於、高、佐、士、野、
二、字、伊、須、氣、余、理、比、賣、在、其、中、爾
○夜麻、以、音

さう哉、是とすべし。○神八井耳命神も耳も

称、名之。○神沼河耳命沼河地名さうづー

故カレ天皇崩後スハラミコト其カガサシテキ庶兄ソノ當ク藝志ギ美美ミ

命ミコト娶ウケル其ソノ嫡后オホキサキ伊須氣イ余理ス比賣ケ患ヨ苦リ而ヒ以メ歌メ令ニ

時トキニ將ムトシ殺シセ其ソノ三弟ミハシラノオトミコタラテ而ガリ謀ゴフ之間ホドニ其ソノ御祖オヤ

伊須氣イ余理ス比賣ケ患ヨ苦リ而ヒ以メ歌メ令ニ

知シラ其ソノ御子ミコ等タチニ歌ミ曰ク佐サ韋ガ賀ハ波ハ用ヨ久ク

毛モ多ク知チ和ワ多タ理リ宇ウ泥ニ備ビ夜ヤ麻マ許コ能ノ

波ハ佐サ夜ヤ藝ギ奴ヌ加カ是ゼ布フ加カ牟ム登ト須ス又マ

歌タ曰ク宇ウ泥ニ備ビ夜ヤ麻マ比ヒ流ル波ハ久ク毛モ登ト

韋ガ由ユ布フ佐サ禮レ婆バ加カ是ゼ布フ加カ牟ム登ト曾ソ

許コ能ノ波ハ佐サ夜ヤ牙ゲ流ル

○佐韋賀波用、從狹井河、久毛多知和多理也、雲立渡り之。○宇泥備夜麻ハ、畝火山之。○許能波佐夜藝奴ハ、木葉櫻之。○加是布加牟登須ハ、欲風吹也、一首の意ハ、頭きて聞きし。○比流波久毛登韋ハ、畫者雲

居ホテ、潛りて、動りぬを云フ。○由布佐礼婆、按不春さまじバ、秋さまじバ、まど云

るも春ホーあまじバ、秋ホーあまじバと、云りて、春ホのふを省き、アを切まじバ

即春さまじバ、とハあまじ、タさまじむ、もあまじ、是を春ホまじまじバ、秋ホあまじバ、の意

と、て、春ガ本まじバ、の意と、思ふり、精く、立春立秋の、哥あまじても、然

云、ア准て知べ、於是、其御子聞知而、驚乃、爲將殺

歌の意を聞知、給ふ之。○那泥、當藝志美美之時、神沼河耳命、曰

其兄、神八井耳命、那泥、此二字、汝

記傳云、鐔物ふ兵入以、將殺之時、手足和那那岐
 りと云、鐔と、太刀のツバを云、和那々岐氏ハ、書紀云、慄然又栗々をよめり、手足の震ふをり、○
 建沼河の建、御威の勝、を以て、輔奉給を云、○日子八井命ハ、上も云、了如く、御名の混入、たり、
 兵入以、將殺之時、手足和那那岐
 此五字、不得殺、故爾、其弟、神沼
 河耳命、乞取其兄所持之兵、入殺
 當藝志美美、故亦稱其御名、謂建
 沼河耳命、爾神八井耳命、讓弟建
 沼河耳命、曰、吾者不能殺仇、汝命
 既得殺仇、故吾雖兄、不宜爲上、是
 以汝命爲上、治天下、僕者扶汝命
 爲忌人而仕奉也、故其日子八井

抄云、河内國郡名茨田萬牟多、と注せ、土人、マツタと云、姓氏録云、茨田連、多朝臣同祖、神八井耳命、男彦八井耳命、之後也、と云、正、傳、云、○手嶋連、和名抄云、振津國、郡名豊嶋、天之乃、と注せ、此地小因、姓之、○意富臣、和名抄云、大和國、十市郡、飲富郷、り、○小子部連、雄畧紀云、命螺藏、聚國內、於是螺藏、誤聚、嬰兒、奉獻天皇、天皇大哭云々、賜姓、爲小子部連、天武十三年、紀云、賜姓曰宿祢、とあり、和名抄云、越中國、婦負郡、郷名、小子、知比佐古、と注せ、此氏人の住、地、る、べ、○坂合部連、按、ふ、ま、の皇子の御末、坂合部氏あり、不審、一、姓氏録皇別、坂合部ハ、大彦命之後也、と記、大彦命ハ、孝元天皇の皇子也、又天孫、部、載、を、坂合部ハ、火明命之後也、とも、火闌降命之後也、とも、り、是、等、混、ま、を、あ、づ、○火君ハ、肥後風土記、奉、使、緒、組、之、勲、賜、姓、名、曰、火君、使、緒、組、姓、氏、録、云、肥、直、多、朝、臣、同、祖、神、八、井、耳、命、後、也、と、あり、○大分君、和名抄云、豊後國、郡名、大分、於、保、伊、多、と、注、せ、大、の、轉

土人オイ夕、云、ア○阿蘇君ハ肥後國ノ郡名也。國造本紀ハ阿蘇國造瑞
籬朝、御世火、國造同祖、神八井耳命、孫、速鹿玉命、定賜國造。○筑紫、三家連、和名抄
ハ、筑前國、那珂郡、三宅、同、筑後國、上妻郡、三宅、の郡名有、又、總體紀ハ、糟屋、也、家、總
波、也、倉、鎌、也、倉、多、見、也、糟屋以下、筑前國ノ郡名也、是等ノリ、出、た、り、姓、多、り、
一、○雀部臣、和名抄ハ、參河國、寶飲郡、鄉名、雀部、を、散、か、倍、と、注、せ、り、上、野
國、位、位、郡、鄉、名、雀部、也、依、々、伊、倍、と、注、せ、り、轉、也、○雀部造、舊、事、紀、ハ、神、八、井、耳
命、雀部造等、祖、と、有、○小長谷造、武烈天皇ノ御名、を、小長谷若雀命、と、申、彼、改、
天皇无太子、故、為、御、子、代、定、小長谷部、と、あり、記、傳、ハ、此、姓、ハ、神、八、井、耳、命、ノ、御、末
彼、小長谷部、子、て、阿、ノ、姓、と、せ、り、云、り、天、武、十、二、年、紀、ハ、賜、姓、曰
連、と、あり、○都、祁、直、和、名、抄、ハ、大、和、國、山、辺、郡、都、祁、直、也、此、地、ハ、因、名、也、姓、多、り、
づ、し、○伊、余、目、造、ハ、國、造、本、紀、ハ、伊、余、目、造、志、賀、高、穴、德、朝、御、世、印、播、磨、國、造、同、祖、
折、彦、命、兒、速、後、上、命、定、賜、國、造、と、あり、即、神、八、井、耳、命、ノ、御、末、也、○科、野、國、造、ハ、信
濃、國、也、國、造、本、紀、ハ、科、野、國、造、瑞、籬、朝、御、世、神、八、井、耳、命、孫、建、五、百、建、命、定、賜、國、造、
○道、奧、石、城、國、造、道、奧、ハ、陸、奥、也、石、城、ハ、同、國、郡、名、子、て、磐、城、也、是、ノ、後、多、り、
養、老、二、年、五、月、紀、ハ、割、陸、奧、國、之、石、城、標、兼、行、方、宇、太、且、理、菊、多、六、郡、置、石、城、國、
一、ハ、此、皇、子、ノ、御、末、彼、國、造、ハ、任、一、書、ハ、洩、を、り、○常、道、仲、目、造、常、道、ハ、常、陸、
也、仲、ハ、同、國、郡、名、那、珂、也、人、國、造、本、紀、ハ、仲、目、造、志、賀、高、穴、德、朝、御、世、伊、豫、國、造、同
祖、建、借、馬、命、定、賜、同、造、と、あり、○長、狹、國、造、長、狹、ハ、安、房、國、ノ、郡、名、也、○伊、勢、郡、本

直、記、傳、ハ、多、氣、郡、ハ、丹、木、村、り、と、云、り、○尾、張、丹、羽、臣、丹、羽、ハ、同、國、郡、名、也、○嶋
田、臣、和、名、抄、ハ、尾、張、國、海、部、郡、嶋、田、郡、り、人、姓、氏、錄、ハ、嶋、田、臣、多、朝、臣、同、祖、神、八、井
耳、命、之、後、也、也、世、孫、武、惠、賀、前、命、孫、仲、臣、子、上、稚、足、彦、天、皇、御、代、尾、張、國、嶋、田、上、下
二、縣、有、惡、神、遣、子、上、平、服、之、復、命、之、日、賜、号、嶋、田、臣、也、と、あり、弘、仁、十、四、年、紀、ハ、改、
臣、姓、為、朝、臣、○
白、檮、尾、上、ハ、白
神、沼、河、耳、命、者、治、天、下、也、凡、此、神
倭、伊、波、禮、毘、古、天、皇、御、年、壹、百、參
拾、漆、歲、御、陵、在、畝、火、山、之、北、方、白
檮、尾、上、也
宮、御、宇、神、武、天
皇、在、大、和、國、高
市、郡、北、城、東、西、一、町、南、北、二、町、守、戸、五、烟、と、あり、大、和、志、ハ、在、四、條、村、と、云、前、皇、
陵、記、ハ、字、神、武、田、と、云、り、由、を、記、し、元、祿、十、一、年、細、井、某、ガ、記、せ、り、山、陵、國、ハ、
四、條、村、子、て、高、一、丈、惣、垣、四、二、十、六、間、字、福、塚、と、云、
一、記、せ、り、是、等、記、傳、ハ、論、り、猶、能、考、べ、
○神、沼、河、耳、命、
後、ハ、後、山、後、靖、と、

神沼河耳命坐葛城高岡宮治天

謚奉きり○葛城ハ神武紀ハ高尾張、邑有土蜘蛛、云々、皇軍結葛、綱而掩襲、殺之、因改号其邑、曰葛城○高岡宮、大和志葛上郡、條、在森股村、云々○師木縣主、師木ハ、紀ノ磯城、小作り、即大和國ノ郡名と云りて、後、上下、小分、云々、姓氏録、志貴連、神饒速日命、孫、日子湯支命之後也、とあり、記傳、此日子湯支命の世より、始て師木、小居住て、其縣主、一て、いさ、物部連、と云稱、あり、故、と云、天武十二年、紀ノ磯城、縣主、賜姓、曰連○河俣毘賣、式、大和國高市郡、川俣神社あり、此地、小橋、名、名、る、一○師木津日子玉手見命、師木ハ、御母の居所を、負、ゆ、五手ハ、葛上郡の地名、あり、見、耳の畧、して、尊稱○肆拾五歲、紀ノ年八十四とあり○衝田岡、紀ノ桃花鳥、野、小作り、諸陵式、在大和國高市郡、北城、東西一町、南北一町、守戸土畑とあり、前皇、庶陵記、俗、云、鳥田丘、在、久米寺、成、亥、と云、大和志、在、慈明寺、村、東、南、丘、俗、呼、主、膳、家、と記、日本紀通證の說、も、あり、山陵岡、も、慈明寺、小在、と

下也、此天皇、娶師木縣主之祖、河俣毘賣、生御子、師木津日子、玉手見命、柱一天皇、御年肆拾伍歲、御陵在衝田岡也

一、字、ス、イ、セ、ン、と、云、高三間、豎、横、各十三間、と記、廻、小溝、を、四、す、り、

○師木津日子玉手見命、後、穴宮治天下也、
 穴宮ハ、日本紀通證、及、大和志、小、在、葛下郡、三倉堂村、と云、記傳、姓氏録、河内國、神別、小、浮、穴、直、の、姓、あり、を、執、と、て、河内國、小、定め、且、万葉九、小、序、足、羽、河、と、あり、を、徵、と、して、片、鹽、を、カ、ク、シ、ハ、と、訓、入、按、小、鹽、ハ、上、より、云、フ、と、時、ハ、之、波、云、々、と、も、云、る、例、ハ、偶、あ、ま、と、下、小、云、居、了、時、ハ、必、某、鹽、と、云、久、く、い、ま、は、葛、シ、ホ、と、よ、り、て、後、考、を、待、り、○此天皇、娶河俣毘賣之兄、縣主、殿、河俣毘賣、上、小、見、也、○縣、主、ハ、師、木、縣、主、也、
 津日子、伊呂泥命、自伊下三字、以、音、

葉江、小、作、り、殿、ハ、延、佳、ガ、破、の、誤、と、も、云、り、○阿久斗比賣、式、小、振、津、國、嶋、上、郡、阿久刀神社あり、此地、小、由、あり、御、名、云、り、一、○常根津日子、伊呂泥命、常

徳と謚奉ま

治天下也、此天皇、娶師木縣主之

○輕之境岡宮

祖、賦登麻和訶比賣命、亦名、飯日

志、大輕村

比賣命、生御子、御真津日子、訶惠

境岡、記傳

志、泥命、自訶下四、次多藝志比古

方三瀬と云野

命、故御真津日子、訶惠志泥命

一、行開云在

者、治天下也

云、是を記

訶比賣命記傳云、太真若之と云、○飯日比賣命、飯日地名云、日え美稱之○和

曲、岐宮、と傳を

此字の意も、美

真津日子、訶惠志泥命、御真津日子、字の如く美稱之、訶惠志泥、記小香殖、稻不作り

次當藝志比古命者、血沼之、別多

志比古命、記、葦

井之、編、天皇、御年肆拾伍歳、御

武石彦、工作を置

の地名、別ハ、尸、重異記云、禰師信嚴者、和泉國泉郡、血沼縣主、佐磨也、とあり、と

縣主の尸、他、姓之

諸陵式云、在大和國高市郡、北城東西一町、南北一町、守戸五烟、とあり、今、飯火村

○御真津日子

御真津日子、訶惠志泥命、坐葛城

訶惠志泥命、後、孝昭と謚

掖上宮、治天下也、此天皇、娶尾張

奉まろり、○掖上

連之祖、奥津余曾之妹、名余曾多

宮、紀云、池心宮

本毘賣命、生御子、天押帶日子命

とあり、大和志

次大倭帶日子、國押人命、故弟

御所ニ村間、今

○尾張連、神代

児、天香山、是尾張連等、遠祖也、と云、○奥津余曾、善事紀、二、瀧津世、兼命、宇摩志、摩治命、四世孫、と云、人名義考あり、○余曾多本、昆賣命、父、名を、兼多本、と考、多、○天押帶日子命、大倭帶日、子、因押人命以上、何れも、稱、名、あり、

○春日臣、春日、兄、天押帶日子命者、春日、臣、大宅、

も大和国、添上、郡、野、臣、多、本、臣、壹、比、臣、大、宅、

氏録、大春日朝、那、臣、多、紀、臣、羽、栗、臣、大、宅、

臣、條、子、仲、臣、令、都、怒、山、臣、伊、勢、飯、高、君、壹、那、

家重千金、彦、師、君、近、淡、海、國、造、之、祖、也、

為者、子、時、大鷦鷯、天皇、臨幸、其家、詔、號、禮、垣、臣、後、改、為、春日、と、あり、大宅、臣、和名抄、大、

和国、添上郡、大宅、郡、あり、武烈、紀、二、暮能、婆、幡、你、於、哀、野、該、須、擬、と、あり、此、天、武、十三年、起、二、賜、姓、曰、朝、臣、○粟田、臣、和名抄、山、城、國、愛宕、郡、郡、名、粟田、と、あり、

天武十三年、起、二、賜、姓、曰、朝、臣、○小野、臣、式、二、近、江、國、滋賀、郡、小野、神社、あり、姓、氏、録、小野、朝、臣、條、二、大德、小野、臣、珠子、家、子、近、江、國、滋賀、郡、小野、村、因、以、為、氏、○柿本、

臣、姓氏、録、柿下、朝、臣、條、二、敏達、天皇、御、世、依、家、門、有、柿、撰、為、柿本、臣、氏、天武、十三年、紀、小野、姓、曰、朝、臣、と、あり、大和志、二、葛下、郡、二、柿本、村、あり、○壹比、率、臣、九、恭、紀、二、

到、倭、春日、食、于、櫛井上、大和志、二、添上、郡、二、櫛本、村、あり、天武、十三年、紀、二、賜、姓、曰、朝、臣、○大坂、臣、和名抄、大和国、葛上、郡、大坂、郡、式、二、同、郡、大坂、山、口、神、社、有、又、

名抄、備後、国、安那、郡、二、大坂、郡、あり、是、ハ、次、二、阿那、臣、二、由、あり、引、出、ス、○阿那、臣、阿那、ハ、備後、国、郡、名、二、和名抄、二、夜須、奈、と、注、二、ハ、元、を、陰、門、二、思、よ、と、一、

改、二、ハ、安、閭、紀、二、阿那、郡、と、記、二、目、造、本、紀、二、吉備、元、目、造、二、纏、向、日、代、御、代、和、述、臣、同、祖、彦、訓、服、命、孫、八、十、足、尼、皇、賜、目、造、○多、紀、臣、多、紀、二、地、名、諸、國、二、君、

中、二、近、二、大和、国、宇智、郡、吉野、郡、和泉、国、泉、南、郡、等、二、瀬、村、あり、氏、人、ハ、見、延、也、○羽栗、臣、和名抄、二、山城、国、久世、郡、羽栗、郡、尾張、国、羽栗、郡、あり、○知多、臣、和名抄、二、尾張、国、郡、名、智多、と、あり、○卒那、臣、ハ、上、總、国、武射、郡、二、因、二、姓、二、目、造、本、紀、武

社、目、造、條、二、證、を、記、二、○都怒、山、臣、考、二、續、紀、九、二、角山、君、内、麿、三、代、實、録、七、二、角山、公、成、子、と、云、氏、人、見、延、也、○伊勢、飯、高、君、ハ、伊勢、国、二、郡、名、二、壹、師、君、ハ、伊勢、国、の、郡、名、二、○近淡、海、目、造、ハ、目、造、本、紀、二、淡海、目、造、志、賀、高、丸、德、朝、御

世、彦、坐、三、世、孫、大陀、牟、夜、別、定、賜、目、造、と、あり、但、此、王、ハ、開、化、天、皇、の、皇、子、二、倭、姫、世、記、二、垂、仁、天、皇、四、年、淡海、目、造、進、地、二、御、田、と、有、

○博多山、諸陵、天皇、御年、玖拾參、歲、御陵、在、掖上、式、二、在、大和、国、葛上、郡、北城、東、博多山上也、西六町、南北、六

町、守戸五烟、大和志、在室村、陵畔有八幡、祠并冢四、とち
又、山陵岡、三室村、天皇山、と記し、廣陵記の説も同

○大倭帶日子、大倭帶日子、國押人命、坐葛城室
之、秋津嶋宮、治天下也

抄、大和國葛上郡、牟婁、辨所、今、室村と云、○秋津嶋宮、神武紀、天皇與巡幸因
登、腋上、嘯間、丘、而、忍望、國狀、云々、猶、如、蜻蛉、之、脣、也、由、是、始、有、秋津洲、之、號、とあり
と、此、牟婁、の、地形、を、云、ふ、一、く、此、宮、号、を、皇、國、の、總、名、と、云、ふ

○忍鹿比賣命、此、天皇、娶、姪、忍、鹿、比、賣、命、生、御、子、
大吉備諸進命、次、大倭根子、日子

賦斗邇命、次、大倭根子、日子、賦斗邇命者、治天下也、天
子、比、古、伊、佐、勢、理、毘、古、命、亦、名、大、吉、備、津、日、子

皇、御、年、壹、百、貳、拾、參、歲、御、陵、在、玉
手、岡、上、也

斗邇命、根子、の、尊、稱、と、て、御、代、々、々、此、御、名、を、繼、承、し、つ、つ、多、う、人、賦、斗、邇、の、紀、は
大、瓊、玉、作、り、入、字、の、如、く、尊、稱、と、す、○、玉、手、岡、の、諸、陵、式、云、在、大、和、國、葛、上、郡、北、城、東
西、六、町、南、北、六、町、守、戸、五、烟、廣、陵、記、
及、大、和、志、云、玉、手、村、に、存、と、記、す

○大倭根子、日子、賦斗邇命、坐、黑田
廬、戶、宮、治、天、下、也

後、云、孝、靈、と、謚、す、
奉、ま、り、○、黑、田、
ハ、和、名、抄、云、大、和、國、城、下、郡、齊、名、黑、田、久、留、多、と、注、す、ハ、此、地、之、留、字、ハ、口、と、よ、む
づ、き、古、音、巧、ク、同、郡、ハ、今、も、黑、田、村、と、す、○、廬、戶、宮、ハ、大、和、志、云、在、古、黑、田、二、村
間、都、社、と、記、せ

此、天、皇、娶、十、市、縣、主、之、祖、大、目、之、
女、名、細、比、賣、命、生、御、子、大、倭、根、子、

紀山、十市縣主
 五十坂彦○細
 比賣命細ハ我
 報子日子国玖
 琉命玖琉ハ記
 傳ハ括入テ就
 了意ク、ト云、
 以下称名ス○
 春日ハ和名抄
 ヲ添上郡郡名
 ヲ見セ○千々
 速真若比賣千
 々々記傳ス千
 々姫ノ千々ユ
 〇下稱名ス○
 夜麻登久速阿礼比賣ハ、上ユ見正セ、和知都美命ノ御子ス、意留夜麻登ハ、大

日子國玖琉命一柱 玖琉又娶 春
 日之千千速真若比賣生御子 千
 速比賣命一柱 又娶意富 夜麻登
 玖通阿禮比賣命生御子 夜麻登
 登母母曾毘賣命次日子 刺肩別
 命次比古伊佐勢理毘古命亦名
 大吉備津日子命次倭飛羽矢若
 屋比賣四柱

倭ハ大和国城下郡ノ郡名ス、玖速阿礼ハ国頭ノ下稱名○夜麻登々々々々
 毘賣命紀ハ傳迹ハ日百襲姫ハ作事ノ名義詳クモ○日子刺肩別命、刺肩考
 多、此御子紀ハ淡路○比古伊佐勢理毘古命記傳ス、伊佐ハ射、勢理ハ進む
 意を云、ト云、○大吉備津日子命、吉備ハ因名ノ下、其由ハ下見由○倭飛羽
 大若屋比賣ハ、御神ノ御名ノ等、但、飛ハ、御神ノ御名を、記ハ述
 日、ト作事ハおあト、大和国城上郡ノ地名ノ下、羽大ハ速ハ
 ○蠅ハ、安寧、飲
 小見正セ、伊
 呂村ハ、射ス○
 日子寤間命、記
 小彦狹嶋ハ、作
 事ハ、此御子
 小ハ、あ、ト名
 義考ス、○日
 子建吉備津日
 子命、御名ノ由
 針間ハ、播磨国

又娶其阿禮比賣命之弟、蠅伊呂
 杼生御子、日子寤間命、次若日子
 建吉備津日子命二柱 此天皇之御
 子等、并八柱、男玉玉三五 故大倭根子
 日子國玖琉命者、治天下也、大吉
 備津日子命、與若建吉備津日子

○片岡馬坂ハシラ、スミラ天皇御年、壹佰陸歲、御陵在片岡諸陵式、在大和國葛下郡北城東西五町南北五町、守戸五烟とあり、大和志、在王寺村、馬脊坂東山中

○大倭根子日オホニ大倭根子、日子國玖琉命、坐輕之

後、孝元と、謚、サカヒ坂原宮、治天下也、此天皇娶穗積

奉、オミ臣等之祖、内色許男命、色許二字

地名、高市郡の皇の境岡宮と、イモ妹、内色許賣命、生御子、大毘古

同所あり、ミコト命、次少名日子、建猪心命、次若倭

○穗積臣万葉オホニ根子、日子大毘毘命柱三

手乎過、とあり、地、大和志、十市郡、載あり、此氏、鏡速日命の御末、○内色許賣命、紀、サカヒ色許命、作、オホニ内、サカヒ色許、オホニ葦原色許男の次、注、オホニ如、○大毘古命、オホニ稱、オホニ御名、オホニ猪心命、オホニ少名日子、オホニ建猪心命、オホニ少名日子、オホニ御兄、オホニ大毘古、オホニ對、オホニを、オホニ御名、オホニ猪心命、オホニ紀、オホニ男、オホニ心、オホニとあり、オホニ轉、オホニを、オホニとあり、オホニ稱、オホニ名、オホニ○若倭根子、大毘古命、オホニ大御父、オホニ對、オホニを、オホニ御名、オホニ毘々々、オホニ耳の轉あり

○伊賀迦色許イハカ又娶内色許男命之女、伊賀迦色

賣命、イハカ舊事紀、イハカ伊香色謎、イハカ作、イハカ賀迦、イハカ必、イハカ許賣命、イハカ生御子、イハカ比古布都押之信

下上、イハカ誤、イハカ和名抄、イハカ河内、イハカ命、イハカ都比至、イハカ又娶、イハカ河内、イハカ青玉之女、イハカ名

同、イハカ茨田郡、イハカ郷名、イハカ伊香、イハカ以加々、イハカ波、イハカ邇夜、イハカ須毘賣、イハカ生御子、イハカ建波、イハカ邇夜

注、イハカ今、イハカ村名、イハカ須毘古命、イハカ柱、イハカ此、イハカ天皇之御子等、イハカ并

と云、イハカ此、イハカ地、イハカ五柱、イハカ故、イハカ若倭根子、イハカ日子、イハカ大毘毘命

記傳云、此鄉名
を、イガ々、とよ
者、治天下也

めろ、御名の誤を、助々むを、あつめど非く、香守の、カバ、カゴと、書れり、
古語云、を、や、○比古布都押之信命布都の地名、式云、大和国、城下郡、富都神
社、所、押も信も、稱、名く、○波迹夜須毘賣、植安、大和国、十市郡の地名、より、神
武紀云、取、天香山之、植、土、以、造、八十平、食、云々、故号、取、土、之、異、曰、植、安、と、あり

○建、沼河、別命、其、兄、大、毘、古、命、之、子、建、沼河、別命

沼河、耳、命、云、お、者、等、阿、倍、臣、次、比、古、伊、那、許、志、別命

式云、大和国、城、自、比、者、膳、臣、之、祖、也、以、音、比、古、布、都、押

上郡、高屋、安倍、此、信、命、娶、尾、張、連、等、之、祖、意、富、那

神社、と、所、此、地、より、出、を、之、之、妹、葛、城、之、高、千、那、毘、賣、那

姓、云、つ、づ、天、毘、之、妹、葛、城、之、高、千、那、毘、賣、那、朝、臣、○比、古、伊、音、以、生子、味、師、内、宿、祢、此、者、山、代、内、

武、十、三、年、紀、云、膳、臣、賜、姓、曰、朝、臣、○尾、張、連、ハ、孝、昭、段、云、尾、張、連、之、祖、奥、津、余、曾、と

あり、云、云、○意、富、那、思、記、傳、云、舊、事、紀、を、引、て、鏡、速、日、命、七、世、孫、建、諸、隅、命、の

子、市、大、指、日、命、と、同、人、と、云、云、○高、千、那、毘、賣、名、義、詳、云、つ、づ、注、那、毘、賣、三、字、と

為、づ、○味、師、内、宿、祢、味、師、ハ、美、祢、人、内、ハ、大、和、国、郡、名、宇、智、人、宿、祢、ハ、私、記、云、昔

称、皇、子、為、大、兄、又、称、近、臣、為、少、兄、也、宿、祢、之、義、取、於、少、兄、也、と、所、云、少、兄、の、切、ス、ク

子、云、云、○山、代、内、臣、和、名、抄、云、山、城、国、綴、喜、郡、宇、智、郡、式、云、同、郡、内、神、社、も、所、云、記

傳、云、此、人、の、子、孫、後、云、山、城、国、云、移、住、り、る、が、舊、の、大

和、の、居、地、を、取、り、て、其、所、を、も、内、村、と、云、云、云、云、○本、国、造、ハ、同、又、娶、木、国、造、之、祖、宇、豆、比、古、之、妹

造、本、紀、云、地、伊、山、下、影、日、賣、生、子、建、内、宿、祢、此、建

五、世、孫、天、道、根、内、宿、祢、之、子、并、九、波、多、八、代、命、定、賜、国、造、○宿、祢、者、波、多、臣、林、臣、波、美、臣、星、川、宇、豆、比、古、記、傳、宿、祢、者、波、多、臣、林、臣、波、美、臣、星、川、小、地、伊、国、若、山、臣、淡、海、臣、長、谷、部、君、之、祖

明紀云、天皇於居田中、中宮とあり、大和国高市郡ふて、大和志云、同郡田中村
 河、又三代實録十云、按大和国無位田中、神從五位下、とあり、大和志云、添下
 郡、條云載云、同郡、田中、杜も何と云、執事、む、定、かた、天武十三年、紀云、田
 中、臣、賜姓曰朝臣、高向臣、河内国錦部郡、高向村、土人、タカウカ、と云
 且、必轉訛、此地名、越前因幡等、ふ、其、ふ、あ、異姓、ふ、孝徳紀云、
 高向博士、黒齋、續紀十八、高向村、主老、類聚目史、五十四、高向史、公守、ふ、見
 色、云、天武十三年、紀云、高向臣、賜姓曰朝臣、小治田臣、是、推古天皇、大宮
 地、云、紀云、小墾田、作、大和志云、在高市郡豊浦村、と記せ、九恭紀云、小
 墾田、采女、安閑紀云、小墾田、屯倉、欽明紀云、小墾田、家、持統紀云、小墾田、寺、ふ、古
 名、高く、聞、今、八村、名、ふ、存、て、夫、去、天武十三年、紀云、小墾
 田、臣、賜姓曰朝臣、櫻井臣、和名抄云、河内国河内郡、櫻井、郡、安閑紀云、櫻井
 屯倉、崇峻紀云、櫻井寺、續紀十五、櫻井、頓宮、甚、名、高、聞、今、廢、六萬
 寺、村、其、名、存、由、河内志云、見、云、天武十三年、紀云、櫻井、臣、賜姓曰朝臣
 ○岸田臣、大和志云、山辺郡、岸田村、大徳實録九、攝津国人、岸田朝臣、全
 繼、云、人、見、天武十三年、紀云、岸田臣、賜姓曰朝臣、平羣都久宿禰、平羣、大
 和国、郡名、都久、木、菟、鳥、似、小、兔、頭、て、毛、角、り、和
 名、抄、見、云、此、鳥、産、屋、入、故事、仁徳紀云、見、云、文長、略、○平
 羣、臣、上、云、天武十三年、紀云、平羣、臣、賜姓曰朝臣、佐和良臣、接、筑前国、

郡名、小早良、和名抄云、佐波良、と云、誤、サワラ、と云、然、ども、是
 其、ふ、あ、河内国、郡名、讚、良、持統紀云、更荒郡、作、上代、佐和良
 と云、も、知、考、○馬御、織、考、一、姓氏、録、馬、工、連、
 平群、朝臣、同祖、平群、木、菟、宿禰、之後、也、と云、エ、御、織、同、訓、云、
 ○木、角、宿禰、木
 紀、伊、國、云、
 づ、解、記、傳
 小、周、防、国、郡、名
 都、濃、其、八、目
 造、本、紀、都、怒
 国、造、難、波、高、津、臣、
 朝、紀、臣、同、祖、都、那、臣、
 怒、足、臣、見、田、鳥、之、
 足、臣、定、賜、国、造、祖、
 と、あ、を、引、出、
 云、○木、臣、上、
 小、云、天武十三年、紀云、紀、賜、姓、曰、朝、臣、○都、怒、臣、上、の、解、云、由、ハ、
 雄、略、九、年、紀、云、見、云、文、長、略、○坂、木、臣、天武十三年、紀云、坂、木、臣、賜、姓、
 次、木、角、宿、禰、者、坂、木、臣、都、奴、臣、之、祖、次、久、
 米、能、摩、伊、刀、比、賣、次、怒、能、伊、呂、比、
 賣、次、葛、城、長、江、曾、都、毘、古、者、玉、手、
 臣、生、江、臣、阿、藝、又、若、子、宿、禰、財、江、野、
 那、臣、等、之、祖、也、
 此、天、皇、御、年、伍、拾、漆、歳、御、陵、在、
 劔、池、之、中、岡、上、也、
 天武十三年、紀云、紀、賜、姓、曰、朝、臣、○都、怒、臣、上、の、解、云、由、ハ、
 雄、略、九、年、紀、云、見、云、文、長、略、○坂、木、臣、天武十三年、紀云、坂、木、臣、賜、姓、

稱、名、波豆羅命者、治天下也、其兄、比古由牟須
 考、大筒美王之、子、大筒木垂根王、次、讚岐
 水垂根王、筒木地名、山美王、子、大筒木垂根王、次、讚岐
 城、郡名、喜垂根王、子、大筒木垂根王、次、讚岐
 人、大、垂根、王、子、大筒木垂根王、次、讚岐
 尊、稱、讚岐、垂根王、和名抄、大和同、廣瀨郡、讚岐、郡、式、
 大和同、廣瀨郡、讚岐、郡、式、
 散、詩、郡、式、
 不、同、郡、讚岐、神、社、也、
 地、由、御、宿、祢、王、柱、三、
 名、之、山、代之、宿、祢、王、柱、三、
 在、名、津、比、賣、在、名、津、ハ、山城、志、不、讚、喜、郡、ハ、江、津、村、リ、是、ウ、
 今、昔、物、語、十、六、及、元、亨、教、書、廿、八、ハ、久、世、郡、ハ、誤、記、セ、リ、モ、山、城、志、ハ、相、樂、郡、ハ、
 出、セ、ル、ス、從、ハ、ツ、但、蟹、藩、ト、書、キ、ハ、佛、者、の、妄、作、ハ、出、セ、ル、所、會、ハ、ク、素、ク、論、

夫、弥、神、社、リ、此、地、ハ、由、リ、
 美、宿、祢、王、式、ハ、伊、勢、國、安、濃、郡、志、
 大、弥、神、社、リ、此、地、ハ、由、リ、
 又、娶、春、日、建、國、勝、戶、賣、之、女、名、沙、
 此、ハ、母、名、を、舉、
 本、之、大、閻、見、戶、賣、生、子、沙、本、毘、古、
 王、次、袁、邪、本、王、次、沙、本、毘、賣、命、亦、
 名、佐、波、遲、比、賣、此、ハ、沙、本、毘、賣、命、者、
 見、ハ、式、ハ、若、狹、后、自、沙、本、毘、古、以、次、室、毘、古、王、
 目、三、方、郡、閻、見、下、三、王、名、皆、以、音、
 神、社、ハ、此、御、子、ト、室、毘、古、王、ハ、次、ハ、若、狹、之、耳、別、祖、ト、リ、
 古、王、ハ、御、母、の、居、地、ハ、依、マ、ル、名、ハ、○、袁、邪、本、王、ハ、佐、保、の、地、名、ハ、初、を、認、ラ、セ、
 久、是、ハ、岐、蘇、を、表、岐、蘇、ト、云、リ、例、ハ、○、沙、本、毘、賣、命、御、凡、ハ、ハ、初、春、哥、ハ、佐、保、
 姫、ト、云、リ、秋、立、田、姫、ト、云、リ、奈、良、の、都、リ、東、西、ハ、何、の、地、名、を、風、流、ク、作、リ、出、
 ○古事記標注中卷之上
 ○三十五

幾、下ふ、時、日、年、代とあり、をば、幾時、幾日、幾年、幾代と、是ハ其文字ハ當てしむべ
きたり、然レハ記傳ニ、字義ハ拘らざる、是をイクダモ、アラチバとより、ハ、非ク、イ
クダトス、俗ニドレホドト、云、る意も、幾時トハ其意異ク、よく、古母を味ふべ
一〇姓名、縣居翁の、ウヂナト、よりハ、從ふべし、此御代ハ、姓名トハ、許勢小柄、
葛城之垂見、あどりの、許勢葛城、即姓人、後世源平の、
姓を賜、るあどりの、例を以て、根ハ古を疑、べし、
○赤土、上卷ハ、
田間大室段ハ、
注、是ハ、壯夫
の衣裾ハ、着た
らむを、目識、
せむ、より、
麻、貫、針、刺、其、衣、襴、故、如、敷、而、旦、時
既、獲、ハ、和、名、抄
ハ、卷、子、を、よ、
續、麻、園、卷、名、也、
と、あり、坊、麻、と、
記、傳、ハ、た、
の、と、より、

是以其父母欲知其人、誨其女曰、
以赤土散床前、以閑蕪、
麻貫針刺其衣襴、故如敷而旦時、
見者所著針麻者、自戸之鈎穴、控
通而出、唯遺麻者、三勾耳、爾即知
自鈎穴出之狀、而從糸尋行者、至

美和山而留神社、故知其神子、故

因其麻之三勾遺而名其地、謂美

和也、此意、富多泥古命、

を疊取て、其糸を一把とす、是を幾把も雙糸の末末を繋ぎおとむ、三把引
殘たりとて、此古事を、土佐風土記ハ、倭迹々、瓊皇女の、御上ハ、傳たり、此皇女
の御墓ハ、大和國城上郡、中村ハ、あり、世ハ、一、ほど、ハ、何、地ハ、住、
らざむ、三輪ハ、遠、
和泉、目ハ、
聞也、猶、
久、大神をオホニワ、
異、
ハ、大和國、葛上郡の地名、
○高志道ハ、越
目、
又此之御世、大毘古命者、遣高志

都斗用之、自前津戸之○伊由岐多賀比の、伊と發語ふて、行達之○宇迦々波久
の、窺を失、云り○新良通登り、不知、登ハ祈字之、此ふふ、起とす、記傳ふ
此登を助て、万葉ニあり、吾乎、鳴不知等、妹之、しあり、等ふふ、と云、と云、と云、
知らずとて、り、等もま、此を其意とて、通さず、一首の意ハ、御命を承、未
むと、前後より行達ハ、窺ふを
知、路をざりて、坐せり、と云

○昔勿言を、ア
レモノイハズ、
とよみり、是非
あり、然云、るハ
物言、ふハ、あり
ゞヤ○我之ハ
汝之の誤、と
記傳ふ云、り○
建波通安王ハ、
上ハ建波迹夜
須昆古命、と云
了、即孝元天皇

女、曰、汝所謂之言何言、爾少女答
於是大毘古命、思怪返馬、問其少
曰、吾勿言、唯為詠歌耳、即不見其
所如而、忽失、故大毘古命、更還參
上、請於天皇、時天皇答詔之、此者
為在山代國、我之庶兄、建波通安

の御子、而て、天
皇の御叔、父子
坐り○伯父ハ、
記傳ふ、小父の
儀、と云、り○宜
行、と云、ケの延
語、○日子國
夫玖命ハ、姓氏
録、彦國菅、ふ作ま、名義考、あり、○丸迹坂、式、大和、同、添上郡、和
迹神社、大和志、ふ、和、亦、村、り、○忌、免、ハ、祭器、あり、る、上、ふ、注、せり

王、起、邪、心、之、表、耳、波、通、二、伯、父、興
軍、宜、行、即、副、丸、通、臣、之、祖、日、子、國
夫、玖、命、而、遣、時、即、於、丸、通、坂、居、忌
覓、而、罷、往

○和訶羅河、も、
泉川の古名、ふ
了○相、挑、ハ、敵
を、誘、り、勤、り、す
意、み、て、此、語、を
の、語、書、漢、籍、の
旁、訓、ふ、多、か、り
○伊豆美、和名

謂、伊、豆、美、也、爾、日、子、國、夫、玖、命、乞
對、立、相、挑、故、號、其、地、謂、伊、杼、美、今
波、通、安、王、興、軍、待、遮、各、中、挾、河、而、
於、是、到、山、代、之、和、訶、羅、河、時、其、建
於、是、到、山、代、之、和、訶、羅、河、時、其、建

抄云、山城目相イキ云其廂人、先忌矢可彈、爾其建波イハヒ樂郡、水泉、鄉市イハヒ爾安王、雖射不得中、於是國夫玖コニ普、見也。○其廂、コニ命、彈矢者、即射建波、通安王而死、コニ記傳云、軍防々、コニ左右廂とあり、コニ義解云、猶左右方、とあり、依りて、より、コニ從ふ。○忌矢ハ、コニ戦むと、より、時、軍神を祭りて、射初るを云、是軍法の舊式也。

○久須婆、和名、コニ故其軍、悉破而逃散、爾追迫其逃、コニ郡柳名、葛葉、コニ須波と注せり、コニ軍、到久須婆之度、時、皆被迫窘而、コニ類聚、国史廿二、コニ延曆十一年、閏、コニ十一月、遊獵于、コニ葛葉野、同十二、コニ年八月、遊獵于、コニ葛葉野云々、以、コニ如鶉、浮於河、故號其河、謂鶉河也、

亦斬波布理其軍士、故號其地、謂コニ波布理曾能、コニ字、以波下五、コニ如此平訖、コニ梓葉、宣、續紀五、コニ交野郡、楠葉、コニ驛、兵部式云、河内、目驛、楠葉七尺、とあり、以上クスバ、とよむべき村也、河内、志、コニ楠葉村、小作り、此地、京街道、ありて、男山、より、一里許、西方、ふ在り、土人、も、クスバ、ハ、と云、コニり、年治、按、み、尿、より、轉、ち、ま、バ、クスバ、と云、コニ正、一、う、る、べき、○遮、り、壘、城、う、り、切、コニと、り、隔、り、る、る、○鶉、河、詳、あり、る、○波、布、理、ハ、散、り、み、居、み、も、通、ふ、○波、布、理、曾、能、コニ和、名、抄、云、山、城、目、相、樂、郡、郷、名、祝、園、波、布、曾、乃、と、注、せ、り、按、み、爰、み、立、返、り、コニて、祝、園、と、あり、れ、バ、鶉、河、も、河、内、目、交、野、郡、に、あり、る、の、と、定、り、る、

○相津、ハ、下、み、コニ尾、張、之、相、津、と、コニも、あり、と、此、ハ、コニ志、國、爾、自、東、方、所、遣、建、沼、河、別、與、コニ陸、奥、郡、名、會、津、コニ其、父、大、毘、古、共、往、遇、于、相、津、故、其、コニあ、り、づ、○和、コニ平、也、ヤ、ハ、シ、タ、

地謂相津也、是以各、和平所遣之
國政而、覆奏爾天下大平、人民富
榮

と、軍事して、九迹坂、忌見を居て、神の祈りて、
祭事といふ、其政、從ふ、和乎といふ意あり

於、是、初、令、貢、男、弓、端、之、調、女、手、末

之、調、故、稱、其、御、世、謂、所、知、初、國、之

御、真、木、天、皇、也、又、是、之、御、世、作、依

網、池、亦、作、輕、之、酒、折、池、也

手、末、の、記、傳、云、手、佐、伎、と、云、む、如、し、と、云、也、扱、弓、以、て、鳥、獸、を、射、手、以、て、綿、布、を、織、ふ、を、云、也、○調、ハ、播、磨、風、土、記、賀、古、郡、條、云、捕、江、鳥、為、御、坏、物、故、子、御、坏、物、と、云、

是ハ景行天皇の御世の、古事云々、御調の名義、是うて、明々、扱御調ハ、神代より、大方の御制、と、云、む、を、委、す、を、傳、ふ、と、云、む、爰、ハ、初、令、貢、と、云、む、ハ、田、畑、定、租、の外、男女の人税を定、させ、給、ふ、と、云、む、○稱、ハ、神代紀、ハ、服、滿、太、高、と、云、む、其、意、あり、靈、異、記、ハ、偉、字、を、タ、ハ、シ、ク、と、云、む、万、葉、十、三、三、ハ、十、五、月、之、多、田、波、思、家、武、と、云、む、御、思、ふ、滿、足、ら、つ、と、云、む、意、ハ、○所、知、初、國、之、御、真、木、天、皇、是、ハ、孝、德、紀、ハ、自、始、治、皇、祖、之、時、と、云、む、と、云、む、其、意、ハ、別、う、て、是、ハ、此、御、世、の、億、兆、壽、稱、中、一、ハ、是、ハ、所、知、と、云、む、一、ハ、然、ル、記、傳、ハ、大、御、名、を、申、せ、と、云、む、後、世、ハ、至、り、て、申、し、と、云、む、所、知、と、云、む、上、カ、も、美、麻、紀、伊、理、毘、古、波、夜、と、云、む、應、神、代、も、木、牟、多、能、比、能、美、古、意、富、佐、邪、岐、と、云、む、併、て、當、世、と、云、む、を、曉、べ、し、初、國、と、云、む、其、天、皇、の、御、為、ハ、其、御、世、を、稱、て、申、す、と、云、む、神、武、紀、も、見、込、り、○依、網、池、扱、津、國、住、吉、郡、ハ、在、根、津、志、ハ、在、庚、井、村、俗、呼、仁、右、衛、門、池、其、三、分、二、為、新、大、和、川、當、今、廣、六、百、六、十、餘、畝、と、云、む、○輕、之、酒、折、池、輕、ハ、大、和、國、高、市、郡、酒、折、池、詳、云、む、○壹、佰、陸、拾、捌、天、皇、御、歲、壹、佰、陸、拾、捌、歲、御、陵、在、山、邊、道、勾、之、岡、上、也

山邊道、勾之岡上也

村直、陵畔有冢
伊久米、伊理毘古、伊佐知命、坐師

○伊久米伊理
毘古伊佐知命
木玉垣宮、治天下也、此天皇、娶沙

本毘古命之妹、佐波遲比賣命、生

御子、品牟都和氣命、柱一

城下郡、玉垣、贊稱、記、珠城宮、小作、大和

志、在、元師村、西、品牟都和氣命、名義、下、見、志、須美、知能、宇

又娶且波比古多多須美、知能、宇

斯王之女、氷羽州比賣命、生御子、

印色之入日子命、印色、次大帶

日子、淤斯呂和氣命、自、淤、至、氣、次

大中津日子命、次倭比賣命、次若

木入日子命、柱五

又娶其氷羽州比賣命之弟、沼羽

田之入毘賣命、生御子、沼帶別命、

次伊賀帶日子命、柱二、又娶其沼羽

田之入日賣命之弟、阿邪美能伊

理毘賣命、此女王、生御子、伊許波

夜和氣命、次阿邪美都比賣命、柱二

○且波比古多
須云々、上不
見、志、須美、知能、宇
須比賣命、也
上、出、○印色
之、入、日子、命、記
子、五、十、瓊、敷、入
彦、命、小、作、志、須美、知能、宇

印、御、祖、父、の、
御、名、を、継、ぎ、
り、○大、帶、日、子、
淤、斯、呂、和、氣、命、
稱、名、く、淤、斯、呂、
子、を、記、し、皇、女、
○若、木、入、日、子、
命、記、傳、み、木、
城、く、と、云、り、○
沼、羽、田、之、入、毘、
賣、命、記、み、渚、葉、
田、瓊、入、媛、小、作、
名、義、考、な、
○沼、帶、別、命、
記、み、鐸、石、別、小、
作、志、須美、知能、宇、
賀、帶、日、子、命、伊、

賀考あり、紀小此二王又娶大筒木、垂根王之女、
 膳香足姫と、一名以音 又娶大筒木、垂根王之女、
 て皇女小傳と、カ 迦具夜比賣命、生御子、袁邪辨王、
 り○阿邪美能 一 又娶山代大國之淵之女、苺羽
 伊理昆賣命、名 一 義考あり、紀小 田 刀辨、此二字 生御子落別王、次
 菡瓊入媛小作 夜和氣命、姓氏 五十日帶日子王、次伊登志別王
 録、阿保朝臣、下 伊登志三
 子、息遠別命、し 以音
 あり、名義字の如し、式小陸奥國、牡鹿郡、伊去波夜和氣命神社あり、紀小池邊
 別、小作し、式小大和國、城下郡、池坐朝霧黃幡比賣神社と云、神名もあまき、苺
 ハ地名小依ま、御名り、波字記傳、一本小依て、姿小改、ち、ハ非く○阿邪美
 都比賣命、御母の名小依ま、○大筒木鋸根王、上小注、り○迦具夜比賣命、意
 みて、稱、名く○袁邪辨王、名義考あり、紀小此御子あり○山代大國之淵、和名抄
 小、山城國宇治郡、大同、郡あり、淵ハ名く○苺羽田刀辨、上小同名あり○落別王、

紀小祖別命、小作ま、此記小ハ、清音小傳、ち、○五十日帶日子王、記傳小、嚴の
 意と云、り○伊登志別王、登、字も、ツの古音以て書、り、刀葉廿二、美等登志、双波
 振とあり、見乍、忍む、ち、名義ハ、影、み、其
 由ハ下小見也、紀小膳武別王、小作ま、り
 ○石衝別王、名 義考あり○布 又娶其大國之淵之女、弟苺羽田
 多遲能伊理昆 刀辨、生御子、石衝別王、次石衝毘
 賣命、紀小西道 賣命、亦名、布多遲能伊理毘賣命
 入姫小作ま、 名義考あり○ 二 柱 凡此天皇之御子等、十六王、男
 一丈も、ヒトツ 三 三、女 故大帶日子、於斯呂和氣
 エも、ヒトヒ 三、三、女 故大帶日子、於斯呂和氣
 ロとも、訓、 命者、治天下也 御脛長、四尺一寸、
 杖より出、 命者、治天下也 御脛長、四尺一寸、
 名、ち、づ、 命者、治天下也 御脛長、四尺一寸、
 寸も、キと訓、 命者、治天下也 御脛長、四尺一寸、
 一、上卷小、市、 命者、治天下也 御脛長、四尺一寸、
 嶋比賣命、田、 命者、治天下也 御脛長、四尺一寸、

オモガクズ、ト
ナラ、サカサ、アレニ、コヲ、モテ、シテ、サシツラト、オホニクヒラ、ドモ、ムクビマ、テ、アリシ
より、古言ふ
刀、授、妾、是、以、欲、刺、御、頸、雖、三、度、舉
め、ま、り、得、字、を
カナキ、コロ、タマナシ、オコラテ、バ、エ、サシツラ、ミセテ、テ、オキス、ナシ、オナテ、ス、スル
加、て、逆、に、不、勝
哀、情、忽、起、不、得、刺、頸、而、泣、淚、落、冷
面、問、ど、ハ、よ、む
於、御、面、必、有、是、表、焉
ト、ハ、オモ、オモ、カナク、ア、イ、ト、サレ、シ、ニ、コ、

さばく、○詔ハ、説文ハ、相呼誘也、と注セリ、○此件、考、字、頭、字、累、り、て、煩、も、り、ま、や、う
ふ、ま、じ、阿、礼、が、よ、し、出、つ、の、儘、を、書、取、ま、し、と、云、る、傳、ま、さ、ば、本、文、ハ、教、て、よ、し、つ、
然、を、私、に、増、減、し、て、よ、ま、さ、状、ふ、よ、し、と、い、む、と
す、あ、ら、ハ、古、傳、ハ、昔、り、の、ま、が、り、言、ふ、ら、ず、ヤ

○殆、を、ホ、ト、ン、
爾、天、皇、詔、之、吾、殆、見、欺、乎、乃、興、軍、
音、便、讀、み、て、俗、
人、過、々、と、云、言、
ノ、畧、み、し、其、際、
以、待、戰、此、時、沙、本、毘、賣、命、不、得、忍、
其、兄、自、後、門、逃、出、而、納、其、之、稻、城、
稻、城、ハ、記、傳、ハ、
師、説、を、記、せ、し、

ど、非、く、起、り、此
件、を、ま、り、め、ら
む、く、見、よ、ま、り、
何、ま、も、戰、時、ハ、
ら、で、常、ハ、稻、城
を、禁、り、の、り、あ
一、稻、と、ハ、教、ふ
て、是、を、依、ふ、一、
て、積、廻、ら、し、矢
を、防、ま、兵、糧、ハ、
も、充、ち、ま、り、し、
稻、を、懸、ち、り、し、
積、一、と、云、る、ハ、
ハ、何、し、む、然、も
雄、畧、記、ハ、稻、城
の、見、よ、ま、り、を、
故、即、有、得、后、之、心
皇、詔、雖、怨、其、兄、猶、不、得、忍、愛、其、后、
之、御、子、所、思、看、者、可、治、賜、於、是、天
城、外、令、白、天、皇、若、此、御、子、矣、天、皇
之、御、子、既、産、故、出、其、御、子、置、稻
軍、不、急、攻、迫、如、此、逼、留、之、間、其、所
后、懷、妊、及、愛、重、至、于、三、年、故、迴、其
此、時、其、后、妊、身、於、是、天、皇、不、忍、其
稻、城、ハ、記、傳、ハ、
師、説、を、記、せ、し、

○古事記標注中卷之上
○五十五
四月、つ、崇、峻、記、ハ、七、月、と、あり、其、頃、前、ち、の、稻、の、有、つ、ま、時、ふ、あり、ざ、る、を、思
へ、○廻、其、軍、と、ハ、稻、城、を、圍、む、の、と、い、ひ、て、攻、入、ら、ざ、れ、を、云、う、○天、皇、詔、雖、怨、の、師、字

上卷須比智通

神の智もおま

とありを照見

よ名義の火御

躬の轉ん日

足に治養ひて

日を足して成

長せしむるを

云○御母の乳

母之○大湯坐

神代記の湯坐

飯噺湯坐とあ

久記傳の湯坐

の兒湯を浴

まの湯母の業

を執りゆる人

衛とありを見

不得地、玉作也、亦天皇命詔其后

言、凡子名、必母名、何稱是子之御

名、爾答白、今當火燒稻城之時而

火中所生故、其御名、宜稱本牟智

和氣御子、又命詔何為日足奉、答

白取御母、定大湯坐、若湯坐、宜日

足奉、故隨其后白、以日足奉也

今按、養育のゆゑ、地を賜ひ、其事不聞ゆる人を、湯坐部と云くは、續紀州子、賜姓湯坐部とあり、湯坐を掌る人、賜つる、此湯坐は、漢籍に湯浴之邑とあり、み、とさく相似たり、此地を日々、置ぬる、大湯坐と若湯坐と、二部あり、めど、大も若も美称なり、異なり、意あり、常の湯坐といふ、和名抄上総国周准郡、湯坐、新あり、天平勝寶六年、八月四日、百部法華經を百人、書しめたり、古文書に湯坐、伊賀磨と云、人も見をたり、續紀廿九、湯坐、曰、理連、池守、三代實録十八、湯坐、菊田臣、繼磨とあり、陸奥国の湯坐、つゝ、地に住し、人等、叔其湯坐の中、若湯坐も、夫人も、蕃産する、昔事記、大伴布命、若湯坐、連寺、祖とあり、の、續紀以下、屢見を、つゝ、大湯坐の氏人、は、渡して傳せり、天武紀に大湯人連、若湯人連、賜姓曰、宿祢と有、

又問其后、曰、汝所堅之、美豆能小

佩者、誰解、美豆能三、答白旦波、比

古多、須美智能、宇斯王之女、名

兄比賣、弟比賣、茲二女王、淨公民

○古事記標注中卷之上

○五十七

○美豆、へ、も、ぶ、
くし、も、と、美、豆、
詞、く、○、小、佩、も、
小、紐、も、
万、葉、九、不、吾、妹、
兄、之、結、手、師、紐、
半、將、解、八、方、
者、絶、十、方、直、ニ、

兄比賣、弟比賣、茲二女王、淨公民

相左^ア右^テニ、按^スノ
上代^{カミ}ハ男女^{オノメ}五^{イヒ}
不^レ結^ビびら^ス一^ツ
と、下^ノ紐^ヲも、他^ノ不^レ
解^ケ一^ツめ^テ、^レ習^フし、此^ノ御^ノ古^ノ事^ヲも^シ、^レ規^ルべ^シ一^ツ
開^キ化^ス天皇^ノの、皇^ノ子^ヲみ^テ、上^ノ不^レ見^ユ五^ツ一^ツ
あり、下^ノ不^レ四^柱とあり、て其^ノ名^ヲま^シ、記^シせ^バ、此^ノ件^ノ二^女ハ、後^ノ人^ノの、^レは^ラり^一
ら^レ不^レ加^フ一^ツ不^レや^一○淨^ノ公^ノ民^ノの、淨^ノハ族^ノの、貴^ノを^シ云^フ、公^ノ民^ノハ、貴^ノ賤^ヲ不^レ涉^ル、^レ赫^シら^レる^一
○相^ノ津^ノ詳^ヲま^シり^一
ず^一○二^侯小^舟亦^レ
も、字^ノの、如^シ、木^ノ
ハ二^侯あり、を、
鑿^テて造^リ一^ツま^シ
る^一べ^シ一^ツ○市^ノ師^ノ
池^ハ、大^和用^十、^一
市^ノ部^ノの、地^ノ名[○]
輕^池、高^市郡^ノの、
地名[○]八^拳鬚^前、
眞^事登^波受[、]
以^レ此^ノ三^字
故^今聞^高
上^來以[、]浮[、]倭^之、
市^師池[、]輕^池、
率[、]遊[、]
之^ノ相^津、
二^侯楳[、]作^二、
二^侯小^舟而[、]持[、]
故^率遊[、]其^御子[、]之^ノ狀^者、
在^於尾^張
其^伊呂^妹亦^從也[、]
然^遂殺^其沙^本比^古王[、]

相左^ア右^テニ、按^スノ
上代^{カミ}ハ男女^{オノメ}五^{イヒ}
不^レ結^ビびら^ス一^ツ
と、下^ノ紐^ヲも、他^ノ不^レ
解^ケ一^ツめ^テ、^レ習^フし、此^ノ御^ノ古^ノ事^ヲも^シ、^レ規^ルべ^シ一^ツ
開^キ化^ス天皇^ノの、皇^ノ子^ヲみ^テ、上^ノ不^レ見^ユ五^ツ一^ツ
あり、下^ノ不^レ四^柱とあり、て其^ノ名^ヲま^シ、記^シせ^バ、此^ノ件^ノ二^女ハ、後^ノ人^ノの、^レは^ラり^一
ら^レ不^レ加^フ一^ツ不^レや^一○淨^ノ公^ノ民^ノの、淨^ノハ族^ノの、貴^ノを^シ云^フ、公^ノ民^ノハ、貴^ノ賤^ヲ不^レ涉^ル、^レ赫^シら^レる^一
○相^ノ津^ノ詳^ヲま^シり^一
ず^一○二^侯小^舟亦^レ
も、字^ノの、如^シ、木^ノ
ハ二^侯あり、を、
鑿^テて造^リ一^ツま^シ
る^一べ^シ一^ツ○市^ノ師^ノ
池^ハ、大^和用^十、^一
市^ノ部^ノの、地^ノ名[○]
輕^池、高^市郡^ノの、
地名[○]八^拳鬚^前、
眞^事登^波受[、]
以^レ此^ノ三^字
故^今聞^高
上^來以[、]浮[、]倭^之、
市^師池[、]輕^池、
率[、]遊[、]
之^ノ相^津、
二^侯楳[、]作^二、
二^侯小^舟而[、]持[、]
故^率遊[、]其^御子[、]之^ノ狀^者、
在^於尾^張
其^伊呂^妹亦^從也[、]
然^遂殺^其沙^本比^古王[、]

須^レ作^之男^命
件^不見^也○眞^音
往[、]鵠^之音[、]始^爲阿^藝登^比
自^レ阿^下
事[、]紀^不言^又語[、]
を^よめ^り、眞^語
レ^音
く○高^性ハ、空^飛、
り○鵠^之音[、]紀^不講^とよ^し、
お^ろど^品ま^り、
と^よし^ても、
○阿^藝登^比、
浮^出、
、
傳^ふ、
○山^邊、
大^和目^の郡^名
と^と云[、]○大^鷲
鷲^字鏡^集、
ノ^セ、
名^抄、
國[、]亦^追越[、]稻^羽國[、]即^到且^波國[、]多[、]

須^レ作^之男^命
件^不見^也○眞^音
往[、]鵠^之音[、]始^爲阿^藝登^比
自^レ阿^下
事[、]紀^不言^又語[、]
を^よめ^り、眞^語
レ^音
く○高^性ハ、空^飛、
り○鵠^之音[、]紀^不講^とよ^し、
お^ろど^品ま^り、
と^よし^ても、
○阿^藝登^比、
浮^出、
、
傳^ふ、
○山^邊、
大^和目^の郡^名
と^と云[、]○大^鷲
鷲^字鏡^集、
ノ^セ、
名^抄、
國[、]亦^追越[、]稻^羽國[、]即^到且^波國[、]多[、]

て、大侯王の御
 子く○宇氣比
 之、時、令副誰人者吉、爾曙立王、食
 へ書紀の誓約
 又祈をいり
 ○驗ハ御夢の
 御覺一く○驚
 巢池、式ハ大和
 目、高市郡鷺栖
 神社あり○宇
 氣比落の落し
 オチ子、と訓
 し、即落よ、と云
 不ふふ、と万葉
 一ハ幣取向而
 早還許年、古今
 六帖ふ、ちの風
 花のふふ間
 吹も、とね味
 謂倭者師木登美、豊朝倉曙立王、
 擣之前、葉廣熊白擣、令宇氣比枯
 亦令宇氣比生、爾名賜其曙立王、
 之、宇氣比活、爾者更活、又在甜白
 詔之時、宇氣比、其鷺隨地死、又詔
 鷺巢池之樹、鷺乎、宇氣比落、如此
 因拜此大神、誠有驗者、住是
 故科曙立王、令宇氣比白、宇氣
 比、

登美ニ
 以レ音

宇氣比活の活も、イダイクル、と活用、語ふ、我衣ニふ、い、と云、ちう言どもを、
 立てい、と見む、今昔物語十、我身ノ弄テ、夫ノ命ヲ、生クル女人有ケリ、同十
 六、可殺ヲバ殺シ、可生ヲバ生ケテ、とあり、活下、爾、宇ハ行、と云、一○
 白擣之前、式ハ大和目、高市郡甘檉坐神社あり、此地の兵岬、○葉廣熊白擣ハ、
 字の如、但熊を繁く、隠、と云、を云、○倭者師木登美豊朝倉云々、者、字、
 記傳ハ、老の誤、と云、と云、ふ従、師木も、登美も、城上郡の地名、朝倉も
 同郡、と云、雄略天皇の宮を、長谷
 朝倉宮、と云、長谷ハ、城上郡あり

○菟上王ハ、曙
 立王の、御弟
 ○那良戸の、那
 良ハ、今云、南都
 みて、戸ハ出入
 道の口あり○
 跛盲字の如、
 和名抄、盲、米
 遣時、自那良戸、遇跛盲、自大坂戸
 亦、遇跛盲、唯木戸是、腋月之吉戸、
 卜而、出行之時、每到坐地、定品遲

○古事記標注中卷之上

○六十

之此、とあり、即、**部也**、故到於出雲、拜訖大神、還上
 目死く、是ハ發途、不祥を忌む、古風あり○**之時、肥河之中、作黒櫛橋、仕奉假**
 大坂戸、和名抄**宮而坐**
 郡大坂野、式小着下郡、大坂山口神社あり、按此大坂戸も、今の比叢越を云○木
 戸ハ、大和より紀伊へ、行ッロウキ、迂道を通ワシ○按月ハ、記傳ハ、縣居翁の、月
 ハ戸の誤、と云、ふ従ふべし、按戸ハ、本道ありぬを云○品選部ハ、本年智別
 王の御名を取まり、和名抄ハ、見返を、郡郷等ハ、大和より西の諸目ハ、品選て
 ふ名の、遠より、此時ハ置給、○黒櫛橋ハ、記傳ハ、細木を糞ハ編並て、架を
 るを、箕橋、と云、云、ふ、よろしきを、黒宇ハ、木を合て、クログト、よとを、ハ、伏
 う、ず、年治按ハ、黒ハ魚の誤、少、魚捕り糞を、巻て橋ハ、架、ハ、あり、ヒ、然
 らバ、魚櫛橋を作て、と訓、一、梁と云、も、屋、ハ、谷川氏云、ま、彼人よく考て
 よ○岐比佐都美、**爾出雲國造之祖、名岐比佐都美**
 美ハ、人名く、出雲風土記ハ、支**饒青葉山而、立其河下、將獻大御**
 比佐社あり○

青葉山、字の如し、青柴を束ねて、造けむ○石**食之時、其御子詔言、是於河下、如**
 硯之曾宮、詳ありむ○大廷ハ、祝り家の嚴め、**青葉山者、見山非山、若坐出雲之**
 伊都玖之祝、大廷乎問賜也、爾所**石硯之曾宮、葦原色許男大神、以**
 伴王丸、曙立王、**遣御伴王等、聞歡見喜而、御子者、**
 菟上王○聞**坐檳榔之、長穗宮而、貢上驛使**
 詔をく○檳榔ハ、本草和名、醫心方等ハ、阿知未佐と注、仁徳、段ハ、阿遲麻佐能志麻母美由、とあり、ハ、淡路嶋
 の、邊の地名、肥前風土記ハ、有檳榔木、蘭云々、民部式、伊豫國別貢の中ハ、檳榔
 柿二百枚、大宰府雜物交易の中ハ、檳榔、馬蓂、六十領とあり、是四國西國ハ、檳榔
 の生、ハ、多の、見を、ハ、ハ、此外檳榔、葉、檳榔扇、檳榔毛、車、あど諸書ハ、見を、ハ、ハ、
 盡、ハ、た、ハ、此木の形状ハ、枝、ハ、直立して、拵、ハ、類ハ、糞の如、ハ、ハ、
 本草集解ハ、記せり、如、此、ハ、長穗宮ハ、係、ハ、枕詞ハ、本草啓蒙ハ、此木ハ、和産十

シ、と記せり、あき物を、古書よきをく記し、其名すく、傳ぶき、理り、あきれた、上代阿
邊麻佐、と云し、ハ、蒲葵、あきつ、ハ、此木も、檜柳、ふ似て、日向、肥前、肥後、對馬等、自
生あり、より、大和本草、ふ云り、猶他國
みも、あきつ、ハ、○長徳宮、詳あり、ダ

○肥長比賣ハ、コニ爾其御子、ヒト一宿誓、ヒ肥長比賣、ナガ故竊
地名ふよき、ミ伺其美人者、バ蛇也、ヲチナリキ即見畏遁逃、スハチ爾
み、音注ふきを、カコミテ肥河の例、ニガ其肥長比賣、ニガ患光海原、カコミテ自船追來
山、多和、記傳、ヨリ其肥長比賣、オヒ患光海原、ヨリ自船追來
万葉、ふ多乎里、バ故、ミ益見畏、テ以、ヤ自山多和、ワ此、ヒ二字、ヒキ引
とあり、に、あ、コシテ越御船、イデマシツ逃上行也、コ於是覆奏言、ヨリテ因
じ、山、の、低、く、た、カコミテ越御船、イデマシツ逃上行也、コ於是覆奏言、ヨリテ因
ま、と、た、の、処、を、カコミテ越御船、イデマシツ逃上行也、コ於是覆奏言、ヨリテ因
云と云り、○御ヨロミ拜太神、オホ大御子、モノ物詔故、ユエニ參上來、カレ故
御船代とある、スメラ天皇歡喜、スナチ即返菟上王、ニコラ令造神宮

を、併見、○此件、ふ美人とあり、ハ、神聖の頭、美女と似て、櫻、あきつ、ハ、○然
哉、蛇、ふ見、を、た、り、た、深、由、を、有、へ、も、今、按、ふ、綿、津、見、神、ふ、を、坐、さ、り、ハ、其、由、上、卷
の、未、ふ、注、り、○大御子の、天皇の御前、ふ、白、あきつ

○鳥取部の、鳥トリ於、コ是、スノラ天皇、ヨリテ因、コニ其御子、ヤタ定、トリ鳥取部、トリ鳥
を捕獲し、人のカヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
功を賞て、其部カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
を掌し、ゆ、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
之、諸、同、ふ、鳥、取、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
て、ハ、地、名、多、あ、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
る、ハ、鳥、取、部、の、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
住、ハ、地、名、多、あ、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
し、○鳥甘部、紀カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
ふ、鳥、養、ふ、作、ま、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
り、甘、ハ、餅、の、篇、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
を、省、く、ハ、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
其、后、ハ、沙、木、尾、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨
賣、命、あり、○歌、カヒ甘部、ホム品、ガ遲部、オホ大湯坐、エ若湯坐、マ又隨

凝比賣考よし
○圓野比賣也、醜返送本土

上ふ、真砥野比賣、ふ作まじり○紀
ふ、竹野媛、一人を返すとあり

○相樂の山城、
於、是圓野比賣、慚言、同兄弟之中

和名抄ふ、佐加、
以、姿醜、被還之事、聞於隣里、是甚

良加、と注せり、
○峻淵、記傳ふ、
慚而、到山代國之、相樂時、取懸樹

と云り○弟國、
枝而、欲死、故號其地、謂懸木、今云

右、山城國の郡、
相樂、又到弟國之時、遂墮峻淵而

名あり、和名抄、
死、故號其地、謂墮國、今云弟國也

迹とあり○三、
又、天皇、以三宅連等之祖、名多遲

宅連、諸目ふ、
又、天皇、以三宅連等之祖、名多遲

麻毛理、遣常世國、令求登岐士玖

能、迦玖能木實、自登下八、故多遲

摩毛理、遂到其國、採其木實、以縵

八、縵、矛、八、矛、將來之間、天皇既崩

爾多遲、摩毛理、分縵四、縵、矛、四、矛

獻于太后、以縵四、縵、矛、四、矛、獻置

天皇之御陵、戸而、擊其木實、叫哭

以、白常世國之、登岐士玖能、迦玖

能、木實、持參上侍、遂叫哭死也、其

能、木實、持參上侍、遂叫哭死也、其

○古事記標注中卷之上

○六十三

る姓、和名抄
武藏國橘樹
郡、名、御宅、備
前、因、見、嶋、郡、御
名、三、家、ふ、と、を
取、合、て、訓、義、を
知、べ、し、姓、氏、録
三、宅、連、新、羅
目、王、子、天、日、辨
命、之、後、也、と、あ
り、天、武、十、三、年
紀、三、宅、連、賜
姓、曰、宿、祢、○多
遲、麻、毛、理、ハ、天
日、捨、の、末、子、
中、應、神、殿、見
る、と、多、遲、摩
ハ、同、名、但、馬、ハ

て、毛理ハ名ク
○常世目也、少
毘古那命、処ニ
注リ○登岐士橘者也

玖能、迦玖能木實、紀ニ非時香葉、不作ま、登岐士玖ハ、万葉ノも、数多見、
あ、
是を香字ノ、字音ノ、思ふ、
又朝鮮語ノ、と云、
リ、
子四蔭ハ、蔭橘子、
着、
開、
古書等、
子為、
ラ、
ハ、
後世、
リ、

毛理、
○壹佰伍拾参
歳、
歳、
原之、
菅原伏見陵、
下郡、
二町、
陵戸ニ烟、
三烟、
志、
紀、
事、
シキ、

此天皇御年壹佰伍拾参歳、御陵
在菅原之御立野中也、又大后
比婆須比賣命之時、定石祝作、又
定土師部、此后者、葬狭木之寺間
陵也

のそよそく、イシとそよそく、書記も、石とよそく、イハふも、磐と書り、例へ、然
ふ建内、宿祿の子ふ、蕪我、石川宿祿とあり、のそよそく、古本ふり、不慮書と
り、イシと又也、イシとまた、此も石祝作とよむづ、記傳ふ、此差別もくして、紀
記ともふ、訓を誤まら、イシと多う、○土師部、土部を和名抄、和泉国大鳥郡、郷名ふ、
波爾之、と注せら、イシ、本語也、又波之と注せら、イシ、多し、爾を省、ハ例へ、波爾ハ練、土
よて、其、以て、人馬及種々の物を、作る人を、土師と云、其部多う、由ふ、土
師部と云、此師、字ハ、音訓を兼たり、○狹木和名抄、大和国添下郡、佐
紀郷あり、○寺間ハ、彼地の小名也、大和志、在常福寺村、と云、イシ

古事記標注中卷之上終

19
7
22

東 京 國 立 圖 書 館

和 書 門

國 史 類

二 二 九 一 函

二 一 〇 架

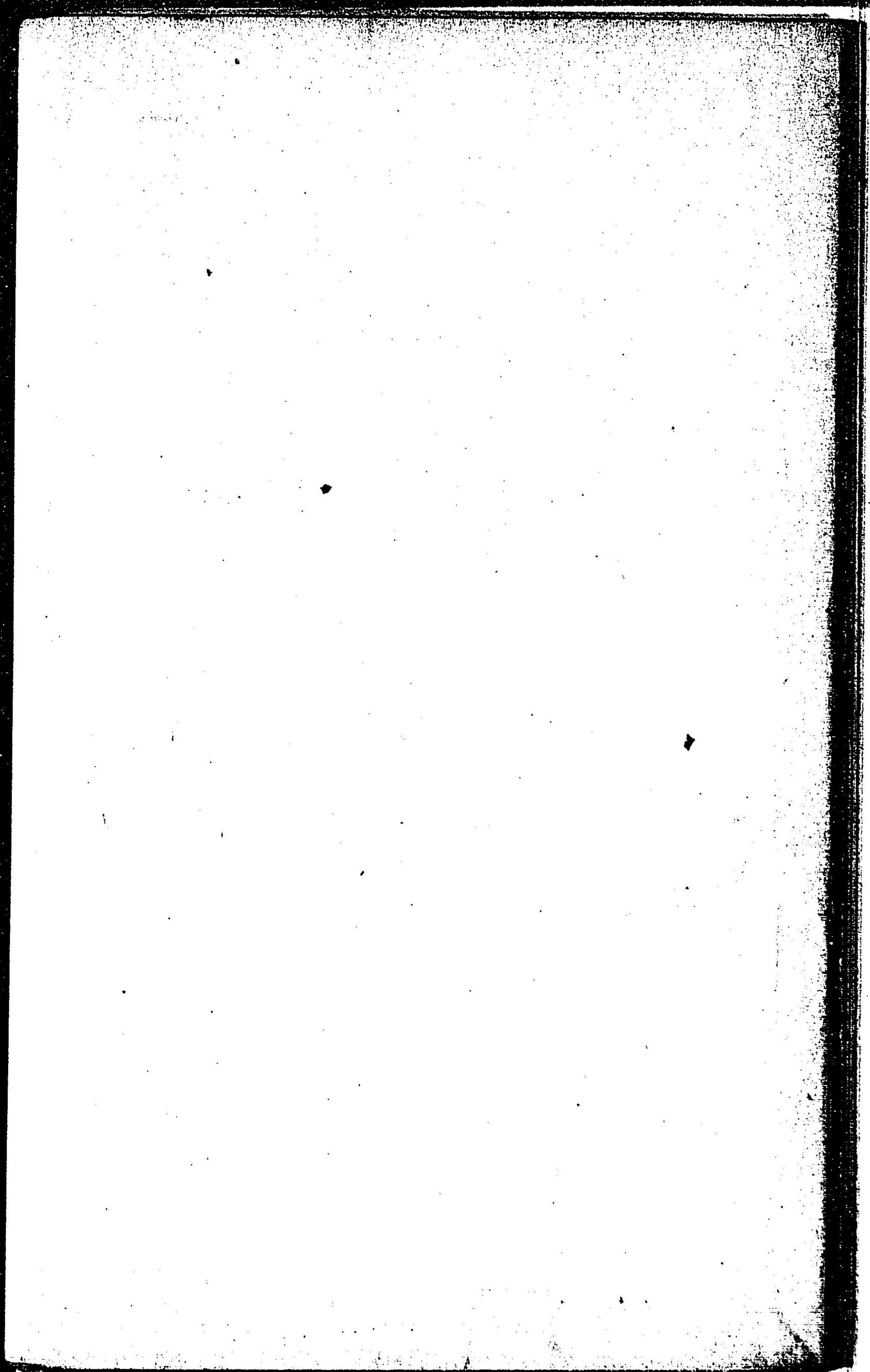
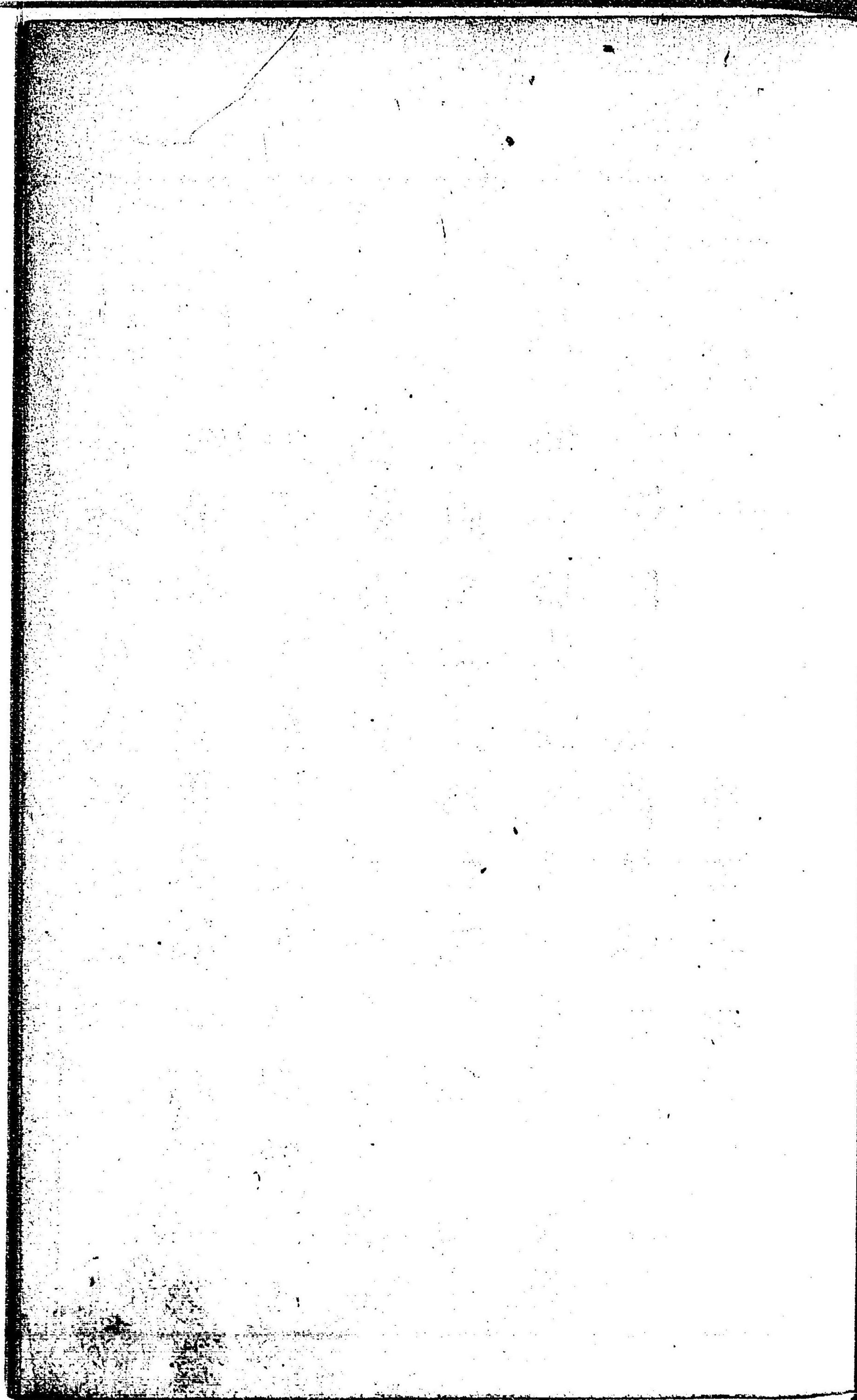
三 八 號

七 冊

敷 田 年
治 標 注

古 事 記 標 註

中 卷 之 下





○大帶日子於
斯氣天皇

古事記標注中卷之下

景行と
御名

敷田年治謹注

後
御名

大帶日子、於斯呂和氣天皇坐纏

み大和国城上
郡卷向坐若御

向之日代宮治天下也、此天皇娶

魂神社とあり
此地く○日代

吉備臣等之祖若建吉備津日子

宮記傳、捨城
と云ふは非く、

之女名針間之伊那那毘能大郎女

城字を古シロ
と訓めり例、ふ

生御子、櫛角別王、次大碓命、次小

とまをちり、按
祝詞式、禮

碓命、亦名倭男具那命、字具那二

代を禮自利と
あまび、日代

倭根子命、次神櫛王

○古事記標注中卷之下

〇一

向國ふりて、娶
給つるより、紀ふ
見とて、御刀媛
ふ作まり、記傳
こ万葉ふ、叙太
か身ふ副妹と
あつ、如く、御身
を離さぬ意と
兄王

云、り○豊國別王ハ、豊國不封一後ムとむ、日向國造之始祖也、紀ふ見とて、
ハ、此皇子の三世孫あり、目造本紀ふ記せり、○伊那毘能若郎女ハ、紀ふ猶日
太郎姫の一名と見と、播磨風土記も、印南別家とありて、一人あまむ、紀の傳
ぞ正し、あるべき○真若王、名義字の如し、○日子人之、大兄王、異ふる意あり、記
傳ふ、人ハ大人
の意と、と云り
○曾孫、和名抄
ふ、孫之子、為曾
孫、和名比々古
とあり、爰ふ倭

建命云々、とあ
る、甚不審之、
若、ハ孝靈天皇
の皇子、推武彦
命の曾孫あり
一、混へるふ
ハありと、記
傳ふも、然云り
○須賣伊呂大
中日子王の須
賣ハ尊稱伊呂
ハ親む詞あり
○訶具漏比賣、記傳ふ髮黒を、稱ち、と云り、○大枝王、記傳ふ、此王ハ日子人
之大兄、王より、を、御母の紛ふ因りて、別人とまきり、と云り、○所録ハ、上代より
書傳、ちるを云ラ、○和氣ハ血沼、別尊野別、の別あり、記傳ふ吾君、凡、意あるづ
と云、ア、○稻置ハ、記傳ふ郎君、久、轉と云り、○縣主ハ、中昔ふ大少領と云、是、
猶成務段、大縣
小縣、下ふ注、
故若帶日子命者、治天下也、小碓

一〇東西カシニ
 シヒムカシト
 命者平東西之荒神及不伏人等
 也次櫛角別王者
 等茨田下連次大
 確命者嶋田君大田
 祖君次神櫛王者
 古木國之酒部阿比古
 景行天皇皇子日向造之祖
 息長彦人大兄造之祖
 磯城命之後也とありこれ甚紛らむれど茨田連ハ神八井耳命ノ御末
 古まむ一〇守君紀大確皇子云々封美濃是躬毛津君守君二族之始祖也
 あり和名抄ハ信濃國佐久郡茂理郷あり隣國ニ涉りて氏人之遺りとむ〇大
 田君大田ハ和名抄ハ美濃國大野郡大田郷あり又安八郡あり大田郷あり
 〇嶋田君和名抄ハ尾張國海部郡嶋田郷あり〇木國之酒部阿比古續紀廿六
 又酒部公家刀自と云人たり紀伊國人之阿比古ハ摩訶婆提法り〇宇陀酒部
 宇陀ハ大和國ノ郡名之酒部ハ職員令造酒司ハ酒部六十人掌供行賜あり
 〇日向國造國造本紀ハ輕嶋豐明朝御世豐國別皇子三世孫老男家賜國造

〇三野國造上
 不見也〇神大
 根王紀小神骨
 小作まり名義
 ハ此記の字の
 如即彦坐王
 の御子〇兄
 比賣弟比賣字
 の如〇今經
 長眼記傳ハ長
 眼ハ心を著
 て久しく居る
 を云と云り〇
 三野之宇泥須
 和氣の宇泥須
 ハ地名あり
 美濃國人
 問一和氣ハ
 賣生子押黑之兄日子王野之者宇
 於是天皇聞看定三野國造之祖
 神大根王之女名兄比賣弟比賣
 二孃子其容姿麗美而遣其御子
 大確命以喚上故其所遣大確命
 勿召上而即已自誓其二孃子更
 求他女人詐名其孃女而貢上於
 是天皇知其他女恒令經長眼亦
 勿誓而惚也故其大確命娶兄比
 賣生子押黑之兄日子王野之者宇

古事記標注中卷之下

戸あり ○半置 泥須 亦娶弟比賣生子押黒弟
都紀不身毛津 氣之須 祖和 亦娶弟比賣生子押黒弟
抄不美濃国郡 日子王 君此等之 祖宜 都

名、武藝、年从と注せり、叔御兄弟の、押黒の
押り、忍みて黒と、御顔の黒きを云り

○田部、安閑紀 此之御世、定田部、又定東之、淡水
倉与毎国、田部、門、又定膳之、大伴部、又定倭屯家
給貳紗手媛と 又作坂手池、即竹植其堤也

諸国不、可也、又作坂手池、即竹植其堤也
予を知らず、記傳ふ田部へ、役、屯家の御田を、佃らるる料不、定置る民
の部へ、と云り○淡水門の、淡ハ安房国へ水門ハ淡より○膳之大伴部記傳ふ
膳夫の多く、其伴の廣き由の給より、賜へ膳夫部を、悉く率掌らるりて、其部
の帥と、為ゆふを云、と云、○屯家ハ、御家へ、諸国不、別ふ、朝廷の御田より、其
稻を收置く、処の名おれば、三宅とも、屯倉とも書り、韓国を弥移居国と云、
も我官家と云義より、大和志ふ、城下郡ふ三宅、原より○坂手池、大和志ふ、城下

郡ふ、坂手村あり、万葉三ふ、鳥網張
坂手手過と、りハ此地あり

○汝兄いづき 天皇詔小碓命何汝兄、於朝夕之
の王よりむ御 大御食不參出來專汝泥疑教覺

○泥疑ハ豊後 泥疑二字以如此詔、以後至于五
風土記ハ、字音 下效此 如此詔、以後至于五

をより俗ニ 日、猶不參出、爾天皇問賜小碓命
太儀ふ、と 日、猶不參出、爾天皇問賜小碓命

云ふ、おもと 何汝兄久不參出、若有未誨乎答
るべし ○朝署 何汝兄久不參出、若有未誨乎答

記傳ふ、署、字ニ 白既為泥疑也、又詔如何泥疑之
曙、偏を省々 白既為泥疑也、又詔如何泥疑之

○と云り ○ 答白朝署入廁之時、持捕搯批而
持捕の、持、字ハ 答白朝署入廁之時、持捕搯批而

待の誤、あり、と 引闕其技、裏薦投棄
おもゆるま、バ 引闕其技、裏薦投棄

よし改つ○枝ハ借字めて成し、
和名抄云、肢、四體也、和名衣太

○熊曾ハ、上巻
ニ注せり○御

髮結額、崇峻紀
の細注云、古俗

年少、兒、年十五
六、間、束髮於額

解子、今亦然之
しり、其結ハ

如しと之○嬢
和名抄云、父之

姉妹為姉、和名乎波とあり、紀傳云、小母の意と云、リ○御裳ハ、腰ニ附りしり、

記傳云、倭比賣命ハ、給もるハ、大御神の御杖代ニ坐まハ、其御裳ハ、懸りしり、

云、り然もり、べー、叔此後ハ、兵士をも數ハ、幸とせ給さるハ、上ニ引關其杖云

云の、強猛の御業を、惶しむて、敵中ハ、乘り入の、御慮がねハ、ありしり、

於是天皇惶其御子之、建荒之情

而詔之西方有熊曾建二人是不

伏无禮人等故取其人等而遣當

此之時其御髮結額也爾小碓命

給其姨倭此賣命之御衣御裳以

劍納于御懷而幸行

量奉りぬ、然るハ次ハ、自其姨倭比賣命者、天皇既、所、以、思、吾、死、乎、と詔ひしり、

併思ふべし、と、是、も、御、心、強、直、ふ、は、い、と、き、御、功、を、立、給、ひ、し、り、を、感、さ、せ

故到于熊曾建之家見者於其家

邊軍圍三重作室以居於是言動

為御室樂設備食物故遊行其傍

待其樂日爾臨其樂日如童女之

髮梳垂其結御髮服其姨之御衣

御裳既成童女之姿交立女人之

中入坐其室内爾熊曾建兄弟二

人見感其孃子坐於已中而盛樂

○古事記標注中卷之下

○六

次云、万葉十
故臨其酣時、自懷出劍、取熊曾之
所念、字鏡、卓
衣、衿以劍自其胸、刺通之時、其弟
注せり、即卓越
の義、よて斜の
建、見、畏、逃、出、乃、追、至、其、室、之、椅、本、
意、を、久、物、語、書、ト、ス、
取、其、背、皮、劍、自、尻、刺、通、
み、日、だ、く、る、と、
ある、に、日、の、高、く、見、ゆ、り、程、を、云、ま、ど、其、の、轉、た、る、よ、て、前、後、み、引、け、り、例、ど、も、を
見、て、其、義、を、知、べ、り、風、雅、集、に、お、ぼ、ろ、ふ、も、む、ろ、の、影、に、あ、り、り、夕、陰、年、と、と、て
見、る、春、の、夕、の、月、白、氏、文、集、十、六、に、叔、母、年、高、新、婦、貪、ふ、と、惣、て、半、を、過、越、た、る、を
云、夕、ケ、十、ハ、の、十、ハ、も、字、鏡、み、償、長、也、奈、波、也、今、志、ま、と、妙、細、長、之、良、奈、波、也、加、介
と、注、せ、り、取、合、て、延、の、意、ま、る、を、知、べ、り、神、武、紀、に、酒、酣、之、後、昔、則、起、歌、と、あ、る
も、半、過、而、後、ま、る、べ、り、字、書、み、酣、飲、酒、未、既、也、と、あ、る、が、如、し、如、此、云、る、ゆ、ま、に、記
傳、み、酣、を、寔、半、の、畧、ま、る、と、説、て、史、記、高、祖、本、紀、に、酒、闌、と、り、り、注、み、云、々、此、闌、を
も、夕、ケ、十、ハ、と、訓、る、に、酣、と、同、意、と、心、得、誤、ま、る、訓、ま、る、べ、り、と、云、久、年、治、云、記、傳
み、に、如、此、強、を、説、の、少、く、ざ、る、に、姑、措、て、勳、ハ、漢、籍、を、引、出、て、左、み、右、み、云、る
ハ、書、廣、き、中、み、見、ゆ、ま、ど、大、方、ハ、字、書、み、引、を、る、を、抄、出、を、る、が、多、う、其、ハ、高

祖紀の酒闌み、夕ケ十ハの訓、何の本を見ず、同紀に酒酣自為歌詩、とあり、処も
も、訓ハ洩せり、うくま、記傳に、私に訓を附て、引出たるを、是れと助て、寔
半、ま、る、と、為、し、も、日、の、た、ま、ま、を、バ、い、う、ま、り、義、と、う、せ、む、○衣、衿、ハ、襟、み、て、裁
縫、ま、る、み、襟、より、下、処、を、オ、ク、ビ、と、云、是、コ、ロ、モ、ノ、ク、ビ、ま、り、○皮、劍、の、皮、字、ハ、以
の、誤、と、し、縣、居、
爾、其、熊、曾、建、白、言、莫、動、其、刀、僕、有、
翁、の、云、る、み、從、
み、○意、礼、ハ、上、マ、ラ、ス、コ、ト、
卷、み、注、せ、り、如、
く、汝、と、呼、應、る、
白、言、爾、暫、許、押、伏、於、是、白、言、汝、命、
時、の、語、ま、り、上、
者、誰、爾、詔、吾、者、坐、纏、向、之、日、代、宮、
尙、意、礼、ハ、玉、よ、
所、知、大、八、嶋、國、大、帶、日、子、淤、斯、呂、
り、建、を、指、て、詔、
り、次、ま、る、ハ、天、
和、氣、天、皇、之、御、子、名、倭、男、具、那、王、
皇、より、王、を、指、
て、詔、ひ、し、意、礼、
者、也、意、禮、熊、曾、建、二、人、不、伏、無、禮、
之、心、を、着、て、見、
る、べ、り、○倭、建、
御、子、伴、信、友、ハ、
聞、看、而、取、殺、意、禮、詔、而、遣、爾、其、熊、

ヤマトタケル
ミコト訓入熊
曾建^{ソノ}白^ヲ信^ニ然^カ也^{ナリ}、於^ニ西^ニ方^ニ除^ク吾^ノ二^ノ人^ヲ、
御名^ヲおれ^バ然^ル無^ク建^ク強^キ人^ト、然^ル於^ニ大^ニ倭^ノ國^ニ、益^シ吾^ノ二^ノ人^ヲ、
よまむハ、然^ル而^テ建^キ男^ヲ者^ハ坐^シ祁^ケ理^リ、是^レ以^テ吾^ノ獻^ル御^ノ名^ヲ、
本^ニ武^ノ皇^ノ子^トふ作^ル自^レ今^{ヨリ}以^テ後^ニ、應^レ稱^ニ倭^ノ建^キ御^ノ子^ト、是^レ事^ト白^ク、
久^シ常^ニ陸^ノ風^ノ土^ノ記^ス、
倭^ノ武^ノ天^ノ皇^トと^シ訖^ル、即^チ如^ク熟^ク武^ノ、振^テ折^リ而^テ殺^ス也^{ナリ}、故^レ自^レ其^ノ、
あ^リて、武^ノ字^ヲを^シタケル^ト、よ^ク時^ニ、稱^ニ御^ノ名^ヲ謂^フ倭^ノ建^キ命^ト、
た^ラ例^ニあ^リま^シ、
バ、姑^ク舊^ク訓^ニふ從^ム、○熟^ク武^ノ、和^ノ名^ヲ抄^シ、熟^ク武^ノ、保^ノ曾^ノ知^トと^シり、即^チ建^キ落^ルて、今^ノ真^ノ桑^ノ丸^ト、
あ^リま^シ、○振^テ折^リの折^リ字^ヲ、拆^リの誤^リあり、縣^ノ居^ノ翁^ノ云^フ、久^シ熟^ク武^ノのぶとく、振^テ折^リと^シく、
○山^ノ神^ノ河^ノ神^ノハ、サ^シ然^ル而^テ還^ル上^ル之^ノ時^ニ、山^ノ神^ノ、河^ノ神^ノ、及^チ穴^ノ戸^ト、
山^ノふも、川^ノふも、
荒^ルぶ^ル神^ノの、あ^リ、
神^ノ皆^ク言^フ向^テ和^ニ而^テ參^ル上^ル、

○穴^ノ戸^ハ、長^ノ門^ノ、因^リ、古^ノ名^{ナリ}、記^ノ傳^ニ、道^ヲ行^クと^シ云^フ、書^ヲを引^キて云^フ、赤^ノ間^ノの關^ト、
門^ノ司^ノの關^トとのあ^リ、一^ツふつと^シて、其^ノ中^ヲを潮^ノの通^ルを、皇^ノ后^ノの御^ノ舟^ヲ通^ル、
難^クう^レを、一^夜の目^ヲど^シ、穴^ノ戸^ノの山^ヲ引^リ、う^レを、云^フ、年^ヲ治^ム云^フ、長^ノ府^トと、下^ノ關^トとの
間^ヲを壇^ノ浦^トと云^フ、小^ノ高^キ山^トと、向^テひ、豊^ノ前^ノ因^リ早^ク鞆^ノ浦^ニ、今^ノ見^ルふ平^ノ地^トと^シ、其^ノ、
あ^リま^シ、地^ヲ接^シて、潮^ノ穴^ノより通^ルひ、跡^ヲと^シ、見^ルと^シ、
然^ルど、巽^ノ狭^キ海^トと^シ、穴^ノ戸^トと^シ、一^ツふつと^シ、
○結^ニ友^ヲを、カ^ル、
ハシミと^シ、
ど、其^ノ心^ヲ愛^シて、
ふ義^ヲ、友^ヲを、
結^ムて、ふ、限^ル、
語^ヲ、
さ^シ、改^メ、
赤^ノ檣^ヲ、用^テ明^ク紀^ス、
赤^ノ檣^ト、此^レ云^フ、伊^ノ知^ト、
毘^ノと注^ス、
詐^ノ刀^ヲ案^ス、真^ノ刀^ト、
ふ對^シて、キ^ダチ、
倭^ノ建^キ命^ノ之^ノ詐^ノ刀^ヲ、於^ニ是^ニ倭^ノ建^キ命^ト、詔^ニ云^フ、
爲^レ易^ク刀^ヲ、故^レ後^ニ出^テ雲^ノ建^キ、自^レ河^ノ上^ニ而^テ佩^ル、
上^ニ取^リ佩^ル、出^テ雲^ノ建^キ之^ノ、解^キ置^キ、横^ニ刀^ヲ而^テ詔^ス、
爲^レ易^ク刀^ヲ、故^レ後^ニ出^テ雲^ノ建^キ、自^レ河^ノ上^ニ而^テ佩^ル、
御^ノ佩^ル、共^ニ沐^ク肥^ク河^ノ、爾^レ倭^ノ建^キ命^ト、自^レ河^ノ先^ニ、
即^チ入^リ坐^シ出^テ雲^ノ國^ニ、欲^シ殺^ス其^ノ出^テ雲^ノ建^キ而^テ、
到^リ、即^チ結^ニ友^ヲ、故^レ竊^リ以^テ赤^ノ檣^ヲ、作^リ詐^ノ刀^ヲ、爲^シ、
結^ムて、ふ、限^ル、
語^ヲ、
さ^シ、改^メ、
赤^ノ檣^ヲ、用^テ明^ク紀^ス、
赤^ノ檣^ト、此^レ云^フ、伊^ノ知^ト、
毘^ノと注^ス、
詐^ノ刀^ヲ案^ス、真^ノ刀^ト、
ふ對^シて、キ^ダチ、

○古事記標注中卷之下

とよまし外ふ
し、崇神紀ふ、此
件ふ今、相類と
る古事を載せ、
彼処ふも、木刀
とありを對見
るべし。○沐ハ、崇神紀ふ、游泳をよくり、アミシハ水浴るよて、沐
字ハ、符もざれど古より書ふより一り。○伊奢ハ率よて、誘ふ言こ
○夜都米佐須、爾御歌曰、夜都米佐須、伊豆毛多
崇神紀ふ、椰の
毛多荒ふ作り、
同義あり、委も
上卷、夜幣賀岐
の御歌ふ注せ
り。○伊豆毛多
禊流賀も、出雲
建之より、抑建
出雲臣、飯入根と、云、人を云、上ハ熊曾建ハ、紀ふ川上、髯師ふ作り、其名を取石

伊奢合刀、爾各拔其刀之時、出雲
建、不得拔詐刀、即倭建命、拔其刀
而、打殺出雲建
爾御歌曰、夜都米佐須、伊豆毛多
禊流賀、波禊流多知、都豆良佐波
麻岐、佐味那志爾、阿波禮故如此
撥治參上覆奏
鹿文、傳、た、を見、べし、此記神武、段、ハ、八十、難、と云、り、其黨の多きを云、○波
禊流多知ハ、佩る太刀あり。○都豆良佐波麻岐ハ、黒葛清卷あり、物詩書ふ、さ
や、と、云、る、語、多、し、清、潔、の、意、よ、て、遊、仙、窟、ハ、肝、腹、を、サ、ハ、ヤ、カ、と、訓、り、俗、ハ、サ、ツ
パリと、云、ふ、お、あ、と、く、美、た、る、語、あり。○佐味那志ハ、阿波礼ハ、真、身、無、ふ、嗚、呼、之
是ハ、歎、息、の、辞、よ、て、木、刀、ハ、係、り、万、葉、ハ、劍、太、刀、身、ハ
副、も、と、よ、え、る、身、ハ、双、み、く、此、ハ、佐、味、の、味、ハ、お、あ、と、

○十二道ハ、十
二国よて、上代
国を、道と云、
る例あり。○御
鉏友耳建日子
の鉏友ハ、懿德
天皇の御名の
下ハ注、り。○比
々羅木之、八尋
矛、續紀ニハ、
谷、楯、ハ、尋、梓、根
とあり、此外是
受命、罷行之時、參入伊勢大御神
比、比、羅、木、之、八、尋、矛、比、比、羅、三、故
名、御、鉏、友、耳、建、日、子、而、遣、之、時、給
樓、波、奴、人、等、而、副、吉、備、臣、等、之、祖
東、方、十、二、道、之、荒、夫、疏、神、及、摩、都
爾、天、皇、亦、頻、詔、倭、建、命、言、向、和、平
○十二道ハ、十
二国よて、上代
国を、道と云、
る例あり。○御
鉏友耳建日子
の鉏友ハ、懿德
天皇の御名の
下ハ注、り。○比
々羅木之、八尋
矛、續紀ニハ、
谷、楯、ハ、尋、梓、根
とあり、此外是
受命、罷行之時、參入伊勢大御神

○古事記標注中卷之下

彼見臣とまむ、ミヤニ宮、拜神朝廷、即白其姨倭比賣命、ミラバヤマトヒメノミコトニ
上代常ふ用ひ、ミヤニ武器よりけむ、本草ふ、柘骨を配たり、此木を東国より、オニヒラギと云、イダダ未經幾時、不賜軍衆、今更平遣東
十月に至り、小枝葉刺りて、カタ方、十二道之、惡人等、因此思惟、猶
白花を開き、香氣あり、常ふ終、ホシ所思、看吾既死焉、患泣罷時、倭比
字をよみ、人よ、メノ賣命、賜草那藝、ナギツルギ劍、ナギツルギ音、ナギツルギ以、ナギツルギ音、亦賜御
く知む、木之、フクロの御門より、神、テ囊而、詔若、トシ有急事、コト解茲囊口、フクロ
宮を云、○白者、マラシタママヘラクハと、よめり、ハ非之、今改メ、フ○惡人、万葉廿六、布多富我美
阿志氣比等奈里と、ハ依てよし、フ此惡人を、マツロハヌヒト、とよめり、ハ

然るもれど、若然よほむふ、マカ不伏人、マカ不奉人、マカ不服人、麻都漏波奴人、マカ書、マカベ、マカマ
此記の例も、マカをヤ、○草那藝、ハ八俣遠呂智の尾より、出たり、大カ、マカ名義
ハ下み見ゆ、○急事、マカ枕冊子、マカよ、マカと、マカの、マカとて、マカせ、マカマ
あり、マカり云々、マカ字鏡集ふ、マカ此急字を、マカトシとも注せり、マカ同義之

○尾張國造、カレ故到尾張國、マカ入坐尾張國、マカ造之祖、マカ
高元總朝、マカ以天別天、マカ大明命、マカ十世孫、マカ止與命、マカ定賜國造、マカとあり、マカ○美夜受比賣、マカ紀、マカ尾張氏之女、マカと記し、マカ熱田縁起、マカふ、マカ人等、マカ故爾、マカ到相武國、マカ之時、マカ其國造、マカ稻種公之妹、マカとあり、マカ○相武、マカハ相摸、マカハ相字、マカをサガとよむべ、マカ之、マカ神、マカ甚道速振神也、マカ

き由り、音韵啓蒙、弁、あ、り、り、○国造ハ、国造本紀ハ相武目造、志賀高元、穂朝、武
刺目造、祖、神伊勢者、彦命、三世孫、茅武彦命、床賜目造、と、り、ま、ど、其、り、前、よ、既、く
定、り、と、む、○道速振、上、卷

ふ道速振、荒振、国神、と、り、り、

○者行、と、り、見、
於、是、看、行、其、神、入、坐、其、野、爾、其、國、
造、火、著、其、野、故、知、見、欺、而、解、開、其、
意、み、て、見、備、を、
延、て、ミ、ソ、ナ、ハ、

ス、と、云、よ、人、轉、
て、ミ、ソ、ナ、ハ、シ、
姨、倭、比、賣、命、之、所、給、囊、口、而、見、者、

とも、活、云、り、下、
卷、ス、斯、漏、多、問、
火、打、有、其、裏、於、是、先、以、其、御、刀、
能、蕪、豆、岐、蕪、那、

布、と、あ、り、も、袖、
著、備、ふ、す、り、○
而、燒、退、還、出、皆、切、滅、其、國、造、等、即、
火、打、按、上、代、

と、火、へ、燃、出、
と、中、昔、より、ハ、
著、火、燒、故、於、今、謂、燒、遣、也、

專、火、打、と、云、る、見、を、初、て、其、ハ、今、世、み、物、も、如、く、石、と、金、を、打、合、て、火、ハ、出、
む、と、お、ぼ、し、ま、を、此、御、世、の、火、打、も、お、あ、り、業、ふ、せ、り、詳、あ、り、ど、但、蕪、黄、を、用、か、
る、ハ、後、み、て、其、う、と、蕪、麻、草、等、の、炭、ハ、打、付、々、む、東、国、ふ、て、ハ、今、も、然、る、も、
○
苧、撥、草、是、ハ、御、傍、の、草、を、刈、拂、ひ、て、火、を、近、づ、め、ざ、る、と、紀、ハ、玉、所、佩、劍、義、雲、
自、抽、之、難、攘、王、之、傍、草、と、あり、○燒、遣、の、遣、ハ、延、佳、本、ハ、津、ハ、作、ま、る、を、是、と、す、式、
ハ、駿、河、国、益、頭、郡、燒、津、神、社、和、名、抄、ハ、同、国、郡、名、益、頭、を、未、志、豆、と、注、せ、り、燒、て、
ふ、を、忌、と、て、呼、易、と、る、と、紀、ハ、日、本、武、尊、初、至、駿、河、云、々、と、り、り、て、其、跡、彼、国、ハ、在、
ま、り、紀、を、正、し、と、り、て、此、記、及、古、語、拾、遺、ハ、相、武、と、傳、へ、る、を、誤、と、せ、む、久、記、傳、
ハ、此、時、ハ、す、と、駿、河、と、云、大、名、ハ、ふ、り、と、む、を、書、紀、ハ、後、ハ、分、た、る、と、目、名、を、以、
て、記、さ、ま、た、る、物、と、云、り、此、説、ハ、附、べ、し、御、歌、ハ、相、武、の、小、野、と、も、あ、ま、を、ま、り、
然、ハ、崇、神、段、東、方、十、二、道、と、あり、此、の、記、傳、ハ、駿、河、を、も、十、二、目、ハ、數、合、せ、
り、尻、口、と、の、ま、さ、る、誤、ハ、記、傳、ハ、り、り、誤、り、と、り、り、心、に、見、る、

○走、水、海、ハ、相、
摸、国、三、浦、郡、ハ、
て、此、地、東、ハ、上、
總、目、天、羽、郡、富、
津、ハ、向、ハ、其、間、
絶、一、里、ハ、足、

自、其、入、幸、渡、走、水、海、之、時、其、渡、神、
興、浪、廻、船、不、得、進、渡、爾、其、后、名、弟、
橘、比、賣、命、白、之、妾、易、御、子、而、入、海、

○古、事、記、標、注、中、卷、之、下、
○十、一、

ざる海く、紀ふ三三
可立跳渡云々、中御子者、所遣之政、遂應覆奏、將
故時、人号其海、入海時、以菅疊八重、皮疊八重、絶
曰馳水也、とあり、
り、此地ふ、走水、
観音と云、物の
りて、往來の船
を、守るゝ舟を、
云、り、即弟橘比賣命、
国ふ、り、わか、類、
負せ祭まら、
橘比賣命、
疊、皮疊、絶疊、
まも、字の如、
○佐泥佐斯、
相武ふ係る枕
詞ふ、め、ま、ど、詳
あ、り、ず、○佐賀

中御子者、所遣之政、遂應覆奏、將
入海時、以菅疊八重、皮疊八重、絶
疊八重、敷于波上、而下坐其上、於
是、其暴浪自伏、御船得進

爾其后歌曰、佐泥佐斯、佐賀牟能、
袁怒邇、毛由流肥能、本那迦邇、多
知豆、斗比斯、岐美波母、故七日之

牟能袁怒邇ハ、
相武之小野ハ、
能ハ、燃火之也
り○本那迦邇多知豆ハ、火中ふ立て之○斗比斯岐美波母ハ、問一君をもみて、
火中ふ坐さるゝも、我を問ひ、
とあり、ふおカド、波母ハ、歎息の辞、
長柄郡橘神社あり、若も御櫛を納め、
妻、森あり、よま

後、其后御櫛、依于海邊、乃取其櫛、
作御陵而治置也

其地、久尋べ、
○蝦夷ハ、蝦人
ふて、人、字をシ
と訓、
をウシと、云、
の、
ふ山、人、世間、人、
あ、
其、
之、蒜片端、待打者、中其目、乃打殺

の、捷きを卑し
て云り、或説ふ、也

鬚あるを以て、名づくると云、是ど葡萄をエビアラと云る杜撰も云々鬚ハ津も、
も、生ものをや、後エビスと云り、轉たると、叔記傳ハ蝦夷ハ松前の奥より、蝦
夷人ふて、人種異くと云、その事實を云、非事あり神武紀の、御歌も、愛
詩鳥、毗儼利と云りて、其愛詩ハ、大和国より、歌奉りし、八十梟帥を云、
處ふても、朝廷ハ、昔奉まゝのりを、上代より、蝦夷といふ、猶此蝦夷ふり、云べ
きるあれど、爰ふハ、略、○足柄ハ、相模国の郡名ふて、和名抄より、上下二分り
○御歌の雅字を、古書等ハ、カレヒと訓たり、例を見まじ、姑、記傳ハ、從ふ、舊訓
ハ、ミナシスル、トコロ、とよめまじ、食神歌より、配難し、○蒜ハ、和名抄ハ、蒜草
菜也、和名比流、故、登立其坂、三歎、詔云阿豆麻波
と云り、○三歎、字ハ、儘ふしむ、夜、一字、自、阿、下、五、故、號、其、國、謂、阿、豆、麻、
波、一、内、宮、儀、式、帳、み、三、遍、音、為、也、即、自、其、國、越、出、甲、斐、坐、酒、折、宮、
豆、發、令、幸、行、ふ、ど、り、り、記、傳、ふ、此、三、字、を、ネ、モ、之、時、歌、曰、通、比、婆、理、都、久、波、表、須、

疑豆伊久用加泥都流

コロニ、と訓ま
ど、然よまむ
ハ、三、字、を、書、ま、し、ま、し、や、記、も、三、歎、と、り、○、阿、豆、麻、波、夜、記、ハ、吾、嬬、者、耶、と
あ、る、が、と、一、○、謂、阿、豆、麻、と、ハ、足、柄、坂、と、ハ、以、東、の、目、々、を、云、一、を、後、ハ、東、字、ハ、
此、訓、を、配、て、り、遂、ハ、本、義、ハ、失、ひ、て、東、と、云、ハ、通、と、一、て、云、る、が、多、う、ハ、記、ハ、
此、三、歎、を、登、碓、日、嶺、而、と、り、即、上、野、目、の、郡、名、碓、氷、と、ハ、彼、郡、ハ、隣、人、吉、妻、郡、も
阿、と、ハ、此、古、事、ハ、紀、ハ、正、一、う、ハ、ハ、彼、碓、氷、嶺、ハ、東、南、を、遠、く、見、遠、り、す、山、と、り、と
ぞ、○、酒、折、宮、同、国、山、梨、郡、ハ、酒、折、村、と、ハ、名、義、を、求、む、べ、く、○、近、比、婆、理、ハ、常
陸、国、郡、名、と、ハ、新、治、と、り、○、都、久、波、も、同、国、郡、名、と、ハ、筑、波、と、り、同、目、風、土、記、ハ、筑
波、之、縣、古、謂、紀、国、美、萬、貴、天、皇、之、世、遣、來、女、臣、友、屬、筑、波、命、於、紀、国、之、目、造、時、筑、波
命、曰、欲、令、身、名、者、著、目、而、後、世、流、傳、即、改、本、號、更、稱、筑、波、と、り、五、人
ハ、濁、音、ハ、ツ、ク、ハ、と、云、り、○、伊、久、用、加、泥、都、流、ハ、幾、夜、ハ、宿、フ、と、云、り
○、御、火、燒、ハ、上、コ、ニ
代、ハ、脂、松、ヤ、リ、爾、其、御、火、燒、之、老、人、續、御、歌、以、歌
の、も、の、を、焼、一、ケ、ク、
日、向、國、の、曰、迦、賀、那、倍、豆、用、通、波、許、許、能、用、
山、中、に、て、ハ、今、比、通、波、登、表、加、表、是、以、譽、其、老、人、
も、然、り、○、迦、賀

○古事記標注中卷之下

那倍豆ハ、記傳スナハチ即給東國造也タマヒキアツクニシヤコラ

此迎ハ、氣長くふど云、氣不通ふと云、り○用迹波許々能用ハ、夜ハ、九夜
比迹波、登表加表ハ、日ハ、十日をみて、表ハ、歎息の辞あり○東國造ハ、何
國造ハ、當時の職名ふまば、其職ハ、為作人を然上りむハ、論ふきをや、舊訓も然
り○科野之坂ヨリ自其國越科野國、乃言向科野之
高き御坂之、記サカ坂神而、還來尾張國、入坐先日、所
傳ハ、美濃國惠キキラ期、美夜受比賣之許、於是獻大御
奈郡ト、信濃キキラ目伊那郡ト、越キキラ食之時、其美夜受比賣、捧大御酒
了國堺ヲ坂之、と云、り○月經ツキハ、月水して、和ツキ蓋、以獻爾美夜受比賣、其於意須
名抄ハ、佐波利ツキ比之欄、字意須比三著月經、故見其
須比ハ、上ハ注

せり○比佐迎サハリノ月經、御歌曰、比佐迦多能、阿米能
多能ハ、天の枕ツキ詞多、荒木田、迦具夜麻、斗迦麻通、佐和多流、久
久老、万葉概、落葉ハ、日刺方ツキ毘、比波煩曾、多和夜賀比那表、麻
と云、るぞ、よろツキ迦牟登波、阿禮波、須禮杼、佐泥牟
しき○阿米能ツキ迦具夜麻ハ、天ツキ之香山あり○
斗迦麻迹ハ、利ツキ登波、阿禮波、意母閑杼、那賀祁勢
鎌ハ、多流久毘ハ、流、意須比能、須蘓爾、都紀多知通
真渡我あり、以上ツキ祁理
上次句ハ、係了ツキ序あり○比波煩曾、記傳ハ、源氏ハ、むもやう、むもつふど、の語を引出て、細く弱
く、撓む良人と云、り、う、ま、バ、利鎌ふて、刈と、我の、細く、むもやうあり、との意
あり○多和夜賀比那表ハ、婿腕ムコウデをまり○麻迦牟登波ハ、持枕モチマクとハ、之○阿礼波
須礼杼ハ、吾者雖為あり○佐泥牟登波ハ、持寝モチネとハ、うて、佐ハ、發語あり○阿礼

○伊服岐能山之神、式近江國坂田郡伊夫伎神社、美濃國不破郡伊富岐神社、此塚を伊吹山と云ふ。○猪、逢于山邊、其大如牛、爾爲言舉、多う、思ふ事を、聲ふ舉て、詔を、聲ふを云ふ。○而、詔、是、化、白、猪、者、其、神、之、使、者、雖、水、雨、の、字、の、如、し、書、紀、に、大、雨、火、雨、あ、ど、を、よ、み、り、是、等、氷、雨、の、誤、り、と、云、ふ。○者、當、其、神、之、正、身、也。○案、ふ、氷、雨、の、雨、因、言、舉、見、惑、也。

由、ト、リ、降、る、り、の、み、て、こ、う、る、時、に、必、大、雨、ち、り、由、名、ふ、和、名、抄、に、霽、字、を、比、左、女、と、い、注、せ、り。○正、身、の、身、實、ち、り。○當、其、神、之、云、々、記、傳、に、當、字、を、ナ、リ、ケ、ム、ヲ、と、よ、め、ま、ど、然、よ、む、ま、ま、字、よ、り、ね、ば、從、グ、ト、リ、

○玉倉部、天武紀、に、近、江、放、精、兵、忽、衛、玉、倉、部、邑、と、あり。○居、寤、清、水、詳、を、り、ず、伊、吹、山、の、麓、に、り、つ、つ、と、近、江、國、坂、田、郡、に、醒、井、と、云、地、の、り、て、其、所、の、名、高、き、清、水、の、り、此、地、の、伊、吹、山、の、尾、張、ふ、起、路、次、の、ち、り、近、江、ふ、も、廻、り、路、も、知、べ、く、然、ら、び、居、寤、清、水、の、醒、井、と、云、と、云、ふ。○當、藝、野、の、美、濃、國、多、藝、郡、の、野、と、云、ふ。○當、藝、斯、

故、爾、御、合、而、以、其、御、刀、之、草、那、藝、劍、置、其、美、夜、受、比、賣、之、許、而、取、伊、服、岐、能、山、之、神、幸、行、於、是、詔、茲、山、神、者、徒、手、直、取、而、騰、其、山、之、時、白、猪、逢、于、山、邊、其、大、如、牛、爾、爲、言、舉、而、詔、是、化、白、猪、者、其、神、之、使、者、雖、不、殺、還、時、將、殺、而、騰、坐、於、是、零、大、氷、雨、打、惑、倭、建、命、非、其、化、神、之、使、者、者、當、其、神、之、正、身、也。

故、還、下、坐、之、到、玉、倉、部、之、清、泉、以、息、坐、之、時、御、心、稍、寤、故、號、其、清、泉、謂、居、寤、清、泉、也、自、其、處、發、到、當、藝、野、上、之、時、詔、者、吾、心、恒、念、自、虛、翔、行、然、今、吾、足、不、得、步、成、當、藝、斯、形、自、當、下、三、故、號、其、地、謂、當、藝、也。

形和名抄舟具ふ、枕形尾也、和語云多伊之、今按舟人呼枕抄為能
師是と、可人、是、今のカチにて、延佳も記傳も枕の形と云り

○杖衝坂の記
傳ふ伊勢國三
重郡采女村、
存と云り○稍
を後ふヤウク
と云り、稍を引
出て、ウを加え
るく、ヤウクを、
忘其地、御刀不失猶有

自其地、差少、幸行、因甚疲、衝御杖
稍歩、故號其地、謂杖衝坂也、到坐

尾津前、一松之許、先御食之時、所

本語を重云り○尾津、和名抄ふ、伊勢國桑名郡、尾津郷、式ふ同郡、尾津神

社○一松、一本松あり○所忘、其時より今、忘まて、よるを云り○御刀ハ草

那藝、劍と、別
爾御歌曰、袁波理通、多陀通、牟迦

○袁波理
迹、尾張、牟迦
幣流、直、向

都阿勢表、比登都麻都、比登通阿

幣流、直、向

理勢婆、多知波氣麻斯表、岐奴岐

麻都阿勢表、勢麻斯表、比登都麻都阿勢表

一松吾兄、よて、松を、一、一して、吾兄と詔り、表の歎息の辞人、扱非情の物を、兄

と詔へる、異様、聞きて、誰もいぶ、思ふ、うき、後、多、万葉、五、鳥

梅能波奈、岐美乎、於、母、布、得、と、あり、梅を君と云り、枕冊子、昔、よ、と、り、い、れ

日、無、此、君、邪、と、あり、故、事、よ、り、て、竹を君と云り、此、る、例、猶、多、う、り、○比登迹阿

理勢婆、人、ち、り、せ、ば、く、○多智波氣麻斯表、大、刀、佩、ゆ、を、く、○岐奴岐勢麻

皇、四、十、年、十、月、よ、て、再、其、所、ふ、還、向、移、ひ、一、年、月、の、紀、一、戎、と、ま、ど、倭、建、命、御、年、三

十、と、あ、る、を、以、て、數、ふ、ま、ど、其、翌、年、ふ、當、ま、り、あ、ま、れ、一、年、の、間、人、ま、ど、く、行、ふ、

道、傍、み、り、て、盜、取、る、人、ま、ど、ま、り、り、其、う、の、世、態、を、披、る、づ、り、か、く、云、明、治、八

年、より、實、ふ、千、七、百、六、十、五、年、の、昔、く、り、人、心、の、異、な、り、の、譬、ふ、ま、ど、の、あ、り、

抑、古、學、ひ、の、古、今、を、兼、ね、わ、ら、く、物、知、る、を、要、と、ま、ま、り、の、諺、も、お、あ、り、心、を、と

る、の、あ、ま、り、と、万、事、村、直、ま、り、世、の、行、ひ、を、千、の、一、も、真、似、ゆ、え、は、く、思、ふ、を、學

○古事記標注中卷之下

○十七

ふの實學あり、
免^ズ一^ハ慎^ズ一^ハ自^{ヨリ}其^コ地^ノ幸^ニ到^リ三^ハ重^ハ村^ニ之^{トキ}時^ニ亦^モ詔^ス之^キ

○三重ハ伊勢
吾^カ足^ニ如^シ三^ハ重^ハ勾^ノ而^テ甚^ク疲^レ故^ニ號^ス其^ノ地^ヲ

如^ク三^ハ重^ハ勾^ノ而^テ甚^ク疲^レ故^ニ號^ス其^ノ地^ヲ
謂^フ三^ハ重^ハ

和名抄云、糰餅形如藤葛者也、和名萬加利とあり、を引き、土佐日記云、ほぐりの
けらの形も、かきくざりありとあり、をも合て、宝螺貝の状に似て、三重に旋ま

りと云り、按、糰餅ハ、所々ありて、製法も何も、替まらぬや、已く見し、投津目住吉
社に、獻供の糰餅ハ、糰の白米を、おろし、長三寸七分、幅一寸五分、厚四分弱く、形

小判の如く、細長きもの、是を油みて、煮由あり、うきまは、御足の腹に、くさくさ
も、ゆり、を、三も重ねたり、む、如く、の意にて、三重、餅とい、詔つりと聞、上代
の糰餅ハ、甚大ぞ、何り、む、扱此、幸行ハ、美濃より尾津、次

ふ、杖衝坂と、あてて、地理の次第、ふ、叶まざ、猶考べし

○能煩野ハ、伊勢
自^{ヨリ}其^ノ幸^ニ行^リ而^テ到^リ能^ノ煩^ノ野^ニ之^{トキ}時^ニ思^フ國^ノ

勢^ノ國^ノ鈴^ノ鹿^ノ郡^ニ也
以^テ歌^ハ曰^ク夜^ハ麻^ハ登^ト波^ハ久^ク爾^ニ能^ク麻^ハ本^ハ呂^ハ

波^ハ久^ク爾^ニ能^ク麻^ハ本^ハ呂^ハ
婆^ハ多^ク多^ク那^ハ豆^ハ久^ク阿^ハ衰^ハ加^ハ岐^ハ夜^ハ麻^ハ基^ハ

母^ハ禮^ハ流^ハ夜^ハ麻^ハ登^ト志^ハ宇^ハ流^ハ波^ハ斯^ハ

○久^ク爾^ニ能^ク麻^ハ本^ハ呂^ハ
秀^ハふ^テ呂^ハ婆^ハの
添^ハたり^テ辞^ハす^ル

真^ハ秀^ハと^リの^ノ頭^ハきて^テ見^ルゆ^ル、^ル久^クを^テ云^フ此^ハ呂^ハ字^ハハ、^ラの^ノ古^ノ音^ハ以^テ書^クり、^ル紀^ハ小^ノ摩^ハ保^ハ羅^ハ摩^ハ

ふ、作^ルま^シる^ルを^テ見^ルべし、^ル万^ノ葉^ハふ、^ル國^ノの^ノ麻^ハ保^ハ良^ハと^テ云^フる^ルを^テ見^ルゆ、^ル此^ハ良^ハも^テ添^ハたり^テを^テ注^ス

者^ハと^リち、^ル是^ハを^テ一^ハ辭^ハ言^フと^リ、^ル思^フる^ルハ^ハ非^ハあり、^ルう^ラら^バ、^ル此^ハの^ノ婆^ハ字^ハを^テ、^ル何^ノの^ノ意^ハと^リせ^ル

む、^ル是^ハハ^ハ奴^ハを^テ、^ルヤ^ハツ^ハユ^ハラ^ハとも、^ルヤ^ハツ^ハユ^ハラ^ハとも^ハ云^フる^ルふ^ハお^ハあ^ハト^ハき^ハを^テや^ル○^ル多^ク多^ク那^ハ豆^ハ

久^クも、^ル記^ハ傳^ハふ^ル委^ハ附^ハの^ノ畧^ハも^テ、^ル礼^ハ記^ハふ、^ル主^ハ、^ル佩^ハ垂^ハ則^ハ、^ル臣^ハ、^ル佩^ハ懸^ハと^リ、^ル云^フを^テ契^ハ沖^ハ、^ル引^ハ出^ハたり^テ

云^フり、^ル是^ハハ^ハ礼^ハ記^ハの^ノ曲^ハ礼^ハふ、^ル見^ルる^ルを^テ語^フて、^ル委^ハと^リ、^ル佩^ハの^ノ地^ハふ^ハ低^ハて、^ル疊^ハする^ルを^テ云^フ、^ル即^チ

山^ノの^ノ重^ハも、^ルふ、^ル係^ハる^ル枕^ハ詞^ハあり、^ル○^ル阿^ハ衰^ハ加^ハ岐^ハ夜^ハ麻^ハ基^ハ母^ハ礼^ハ流^ハハ、^ル青^ハ垣^ハ山^ハ隱^ハる^ルを^テ云^フ、^ル即^チ

青^ハ垣^ハ山^ハと、^ル中^ハを^テ切^リて、^ルよ^クむ^ベく^クぞ、^ル濁^ハ音^ハの^ノ基^ハ字^ハを^テ書^クれ^ルを^テ云^フ、^ル○^ル夜^ハ麻^ハ登^ト志^ハ宇^ハ

流^ハ波^ハ斯^ハハ、^ル大^ハ和^ハ一^ハ心^ハ愛^ハふ^テ、^ル志^ハハ^ハ助^ハ辞^ハく、^ル御^ハ哥^ハの^ノ心^ハハ、^ルあ^ハり^テも^テ甚^クあ^ハる^ルを^テ云^フ

○伊^ハ能^ハ知^ハ能^ハハ、^ルマ^ハタ^ハ又^ハ歌^ハ曰^ク伊^ハ能^ハ知^ハ能^ハ麻^ハ多^ク祁^ハ牟^ハ比^ハ登^ト

命^ハ之^ハ也^ハ○^ル麻^ハ波^ハ多^ク多^ク美^ハ許^ハ母^ハ幣^ハ具^ハ理^ハ能^ハ夜^ハ麻^ハ能^ハ

○古^ノ事^ハ記^ハ標^ハ注^ハ中^ハ卷^ハ之^ハ下^ニ

○十^ハ八

久叔白鳥を白シ小竹之菊ノ杖カ雖ドモ足跡ミ破レ忘ル其痛ソノ以テ
智鳥と記せりナク哭ク追ヒ
後人の私意オモヒ

み、智字を加、たると、察サまじ、訓減つ、其由ハ、次ハ波麻都知登理、と何ナ処ニ注、
一〇小竹神功紀ハ、小竹此云之努とあり、後ハシノと云ハ、轉マり、跡ハ字書
ム、別也と注セ
リ〇阿佐士怒コ此ト時キ歌ウタ曰ク阿ア佐サ士シ怒メ波ハ良ラ許コ斯シ那ナ
波良ハ、蒼小竹
原ハ有リ人ノ叔阿佐
豆ヅ牟ム蘓ソ良ラ波ハ由ユ賀カ受ズ阿ア斯シ用ヨ由ユ久ク
ハ、青色の濃
まを云て、淺緑、那ナ
淺茅生おど、云、淺是より、万葉一ム、朝毛吉木人トあり、木ハ葱ニみて、上ハ淺ニも、
朝も借字あり、事を、知るべし、字鏡ハ、桔梗を阿佐加保と注し、万葉夫木、後撰六
帖等ハ、アサガホ、と見セた、ハ、皆桔梗、木槿等をよリり、即其花ハ、蒼ニきを以て、
名づクた、是レバ、阿佐小竹原ノ阿佐も同義あり、予を、了解すべし、〇許斯那豆牟
ハ、腰泥ニむル、叔那豆牟トハ、滞りて、ものぐシく、ぬ意ヲたれば、小竹ニ障ラるニ
て、行難キ状ノ〇蘓良波、由賀受ハ、虚者不行ニて、虚ヲも行ク思フと、之行ズ

とあり、〇阿斯用由久那ハ、足ヲ自行ニて、歩ク行キを云フ、其レ上卷、久延ハ昆古段ニ、
足、雖不行、とあり、処ニ注スるを、見ルべし、言ハの終ニ、那ト云フハ、歎ノ意ヲ含ミて、體ニ
押ヘ云フ、ときハ、辞格ヲあり、其レハ、万葉ニ例多く後ニふ
が、古今集ニ、蟬ノ聲ヲ、まキをウらフ、那ト、夏衣ニ云フ
〇宇美賀由氣マ又イ入リ其ノ海ノ鹽ニ而テ那ト豆ヅ美ミ以テ此ノ三ノ字ヲ行ユ
婆ハ記傳ニ、海
行者ニて、賀ハ
國處ヲ、陸ト云
例ニて、海處ニ
と云フ、〇意富
迦波良能ハ、大
河原ニ之レ水
の流ル、處ヲ云フ、〇宇惠具佐ハ、水ニ腦シて、萎マとシ、草ヲうラまシ、宇
惠トハ、勞フを云フ、物食ニぬル、饑ノ字ヲ書キ、是レをウエトも、イヒニウエとも、よ
こシゆク、渴ノ字ヲ、ミヅニウエトとシ、然レムウエト云フ、物ノくムぬル、限リと
思フ、ゆキど、物食ニぬル、勞フ、予ヲれバ、おのづく、意ヲ詞ヲを、思フ、よシセ
たル、神武段ニ、和礼波夜惠奴トあり、も、朕ハ者ヲ勞フぬル、詔ヲ、是レハ、后等ノ
勞ニ、水ニ萎マ、草ヲの如シ、意ヲ、宇惠具佐ノ下ニ、如シと含

〇古事記標注中卷之下
〇二十一

て、よむべし、記傳ふ、宇惠具佐ハ、自生の草を云つと、云るハ非之、植ふ自生の義
理あり予あく、且、自生草と見て、此御歌の、聞ゆるものなりハ、伊佐用布ハ進
うねて、たぬふ意之、一首の意ハ、空飛鳥を、追ひて、海や々バ、水ハ腦ミ、伏
たふ草のぶとく、勞はつとた、潮水を涉りやうも、進みえずとの意之

○波麻都、知登、又、飛、居、其、磯、之、時、歌、曰、波、麻、都、知

理、濱、津、千、島、登、理、波、麻、用、波、由、迦、受、伊、蘇、豆、多

呼、出、む、た、め、ふ、布、是、四、歌、者、皆、歌、其、御、葬、也、故、至

今、其、歌、者、歌、天、皇、之、大、御、葬、也

字、を、補、智、字、以、音、了、注、を、さ、一、加、た、り、後、人、の、私、意、な、る、を、知、べ、し、○波、麻、用

波、由、迦、受、ハ、濱、自、者、不、行、な、り、○伊、蘇、豆、多、布、ハ、磯、傳、な、り、人、扱、磯、と、濱、と、ハ、お、ふ、ト

水、涯、の、や、ハ、聞、ゆ、ま、ど、記、傳、ふ、磯、ハ、濱、ナ、リ、海、ハ、近、き、方、を、云、つ、と、云、う、が、如、く、此

御、歌、も、て、も、然、聞、ゆ、ま、ど、や、扱、后、御、子、を、行、や、す、き、濱、を、バ、行、路、を、ず、し、て、磯、づ

ち、み、み、水、中、を、出、す、す、と、云、ふ、○御、葬、真、仮、名、ハ、傳、を、見、さ、ま、は、清、濁、知、が、と、云

と、云、ハ、同、言、の、重、ま、り、の、省、く、ら、う、た、る、ま、り、の、べ、し、然、不、記、傳、ふ、ハ、ブ、リ、と、訓、ま、は、波、不、理

と、り、て、野、山、ハ、送、放、う、す、意、と、云、る、ハ、死、を、哀、れ、る、の、後、世、ハ、過、を、古、人、の

情、態、ハ、叶、え、ざ、れ、ハ、非、事、之、上、代、ハ、喪、屋、を、作、り、舞、樂、を、あ、し、て、靈、を、慰、め、死、て、も

死、し、り、と、ハ、思、も、ば、ま、し、心、よ、う、い、う、で、穢、ま、を、投、棄、る、お、と、く、放、す、と、ハ、云、ふ、ま、

猶、く、ま、し、く、ハ、古、葬、微、ふ、弁、お、と、り、○歌、云、々、葬、儀、ハ、歌、を、う、ま、し、み、舞、を、ま、し、み、ハ

常、ふ、て、然、例、等、故、自、其、國、飛、翔、行、雷、河、内、國、之、志

記、一、つ、○志、幾、幾、故、於、其、地、作、御、陵、鎮、坐、也、即、號

其、御、陵、謂、白、鳥、御、陵、也、然、亦、自、其

倭、琴、彈、原、仍、於、地、更、翔、天、以、飛、行

鳥、更、飛、至、河、内、留、舊、市、邑、亦、其、處、作、陵、と、あり、記、傳、ハ、上、代、古、市、ハ、志、幾、の、内、ナ、リ

一、と、云、り、河、内、志、古、市、郡、條、ハ、白、鳥、陵、在、古、市、村、陵、上、有、祠、稱、伊、岐、宮、云、々、琴、彈、原

ハ、大、和、志、ハ、在、葛、上、郡、富、田、村、と、記、せ、り

○古事記標注中卷之下

○二十二

○七拳脛記傳スゴテ凡此倭建命平國廻行之時久米コノ子、此名ハ負アケ直之祖名七拳脛恒爲膳夫以從オヤハ夫ハ食物を煮ツカ仕奉也マツリキ

名抄云大膳職を於保加之波天乃豆加佐と注せり此詩の起原ハ拍ハり大膳式云相三十俵粟飯料大炊式云覆瓮相九十八把大嘗祭式云御膳拍云々人別給拍即受酒而飲云々按ふ飯を盛るも覆も粟も酒を汲入るも上代拍葉を用ひし也名食敷葉カを煮カ其を執シヨウシ人ヲを膳夫トハ云り

○布多遲能伊理毘賣命上コノ此倭建命娶伊玖米天皇之女布ヤマト見ミ延ニ帶ヲ中津日子命御ナカツヒコノミコト多遲能伊理毘賣命タヂネノイリヒメノミコト字自布下八生ミコト尊稱ミコト若ニ御子帶中津日子命ミコト柱一又娶其入ハシ建王字の如シ海弟橘比賣命生御子若建王ミコト柱一○安國造上ミコト

近淡海之安直ミ又娶近淡海之安國造之祖意富ミとあり○意富ミ多牟和氣の意ミ富ハ大之多牟ミハ記傳云地名ミ子稻依別王ミ柱一ミ式云多武岑墓云々在大和國十市郡ミ○布多遲比賣布多遲地名ミ詳ミ○稻依別王字の如く稱名之

○吉備臣建日子ミ又娶吉備臣建日子之妹大吉備ミ臣等之祖御鋌ミ建比賣生御子建貝兒王ミ柱一又娶ミ友耳建日子ミ建比賣ハ兄ミ山代之玖玖麻毛理比賣生御子ミ名ミふミ○大古備ミ足鏡別王ミ柱一又一妻之子息長田ミ建貝兒王貝兒ミ別王凡是倭建命之御子等并六ミ詳ミ○玖ミ麻毛理比賣ミ

玖々麻ハ、和名ハシラセリカレ、故帶中津日子命者、治天下也。

抄云、山城国久世郡、押名栗隈、久里久米とあり、此理の省りあり、毛理ハ守あり。一〇足鏡列

王、仲哀紀云、蘆髮蒲見別王、云作きり、名義考へたり。一〇息長田別王、息長ハ近江

国、坂田郡の地名、田ハ考ふ。次稻依別王者、君犬等上之君、建部次建

一〇犬上君、犬上ハ、近江國の郡名云、天武十三年、紀云、犬上之別、禰足鏡別王者、石鎌代之別、漁田

君賜姓曰朝臣、之也。建部君、按ふ祖也。建部ハ、国々云、近江國、栗太郡、建部神社あり、上云見云、犬上君

由何と云、此氏人此地云、住あり。一〇綾君、綾ハ讚岐國郡名云、天武十三年、紀云、綾君賜姓曰朝臣とあり。一〇伊勢之別、記傳云、伊豫之別、君の誤、まりと云

り。〇登表之別、考ふ。一〇麻佐首、詳云。一〇官首之別、是を記傳云、ミヤチと訓

り、然るハ官ハ官とて、首ハ道の畧なり。一〇舊事記云、推武王、官道君、祖とあり、御兄弟の間にて、混じり、官道と云、地名ハ、和名抄云、参河国賣飲郡

の、押名云見也。〇鎌倉之別、鎌倉ハ相模國の郡名云。一〇小津ハ、伊勢、遠江、近江、肥

前等云、あ、地名あり、記傳云、小津ノキミ、とあり、是ハ小津君、石代之別、と云

り、多しを、君石相似たり、字多し、誤り、君字を、脱せしあり。一〇石代之別、石

代ハ、紀伊國の地名あり、万葉云見云。一〇淡田之別、舊事記云、推武彦命ハ、

揮田君、祖とあり、みよりて、記傳云、フキタと訓り、猶考べ。

〇杵俣長日子、次息長田別王之子、杵俣長日子、抄云、振津国住

吉郡、郷名杵念、久未多と注せ、久ヒを略、ハ例、息長真若中、比賣命、飯野

上云、若建王、娶飯野真黒比賣、生、子須賣伊呂大中日子王、自須至

之、黒ハ面の黒、此王、娶淡海之、柴野入杵之女、柴、

古事記標注中卷之下

〇二十四

比賣の息長ハ野比賣生子、迦具漏比賣命故大
 上ハ見ととリ、真若以下、按名
 あり○弟比賣帶日子天皇娶此迦具漏比賣命
 字の如し○須生子大江王、柱此王娶庶妹銀王
 子王、上ハ見也○柴野入生子大名方王次大
 中比賣命、柱并の柴野ハ近故此之大中比賣命者香坂王忍
 江國の地名也○柴野入故此之大中比賣命者香坂王忍
 三べー、入ハ親む詞、并ハ記傳ハ君よるべ
 ーと云、り○銀王ハ皇女也、紀
 比賣命、字の如し、紀ハ彦人大兄、女と何、り○香坂王の香ハ、字音よるを、音注を
 大名方王、記傳ハ名方ハ、地名也、按津國八部郡、長田よるべーと云、り○大中
 邊之道上也

淺せ、紀ハ、齋ハ作ま、り、地名也、るべー○忍熊王、大和志ハ添下郡ハ押熊村ハ
 諸陵式ハ、在大和國、城上郡、北城、東西ニ町、南北ニ町、陵
 戸一畑とあり、大和志ハ、在柳、本村東、稱御陵と記せり
 ○若帶日子天皇ハ、後ハ成務と、謚奉ま、り○高穴穂宮、治天下也、此天皇娶穂
 高穴穂宮、記傳積臣等之祖、建忍山垂根之、女名
 神、明鏡ハ、今ハ弟財郎女、生御子、和訶奴氣王、柱
 志賀寺是、之、何、り、と云、り、朝野群載十一、穴、太、駒、見、也、今、穴、太、村、何、り、と、ぞ、三
 代實録七、近江國坂田郡、穴太氏、し、あり、ハ、志賀郡、し、移、ち、る、あり、る、べー○建
 忍山垂根、之、忍山ハ、式ハ、伊勢國鈴鹿郡、忍山神社、何、り、建、も、垂根
 也、稱、ち、る、く○弟財郎女、字、の、如、し○和訶奴氣王、奴氣考、ち、る
 ○大臣、ま、の、臣、故、建、内、宿、祢、爲、大、臣、定、賜、大、國、小
 ハ、君、不、對、下

身の畧ありベクニ
大臣ハ、オホ
國之國造亦定賜國國之堺及大
マヘツギミト 縣、小縣之縣主也

も、オホマチキミともよむべし、此大臣を記傳ふは、官名ニあり、臣ト云
ふ、大下ノ美稱を、加、たりと云、るハ非、式ノ歴運記ふも、至景行天皇、始置棟梁
之臣、成務天皇改、立大臣之号、ト何、て、職原抄太政官ノ下ふも、然記せまば、素
より官名ニあり、論、不及、む、○大國小國ハ、字ノ如、職員令、國を大上中下
ノ四等ニ分、給、つ、按、上代も、戸數ノ多少、よ、り、て、凡廣狹を以て、大小
ノ分、を、定、賜、ふ、よ、り、○國造ノ事ハ、上、又、注、り、國造本紀、此朝
ノ定、給、つ、る、國造ノ數、九六十一國を載、り、是、より、次々、雄略天皇、純體天皇等
ノ、御世ノ頃、何、れ、を、合、て、百三十三國ノ、國造を記、す、然、此世ノ學者、を、り、
百四十四國ノ、國造ト云、ふ、つ、る、ハ、國造本紀ノ、始、ト、惣、任、國造、百卅四國、と、お
る、を、の、り、見、て、毎、目、不、涉、り、數、見、ざ、り、也、名ノ誤、あり、委、ハ、諸國國造考、不、記、せ
る、哉、見、る、べ、し、扱、此、不、定、賜、と、あり、ハ、此御世ノ國造を、定、賜、ふ、て、國造を、始、め
と、す、よ、と、云、ふ、ハ、あ、り、ず、○國々之、堺、元、より、堺、ハ、何、り、を、此御世、不、殊、更、ふ、き
も、ヤ、り、不、定、給、ふ、一、紀、不、隔、山、河、而、分、國、縣、隨、所、隨、以、定、邑、里、因、以、東、西、為、日、界、
南北、為、日、界、是、ハ、國、縣、を、分、定、給、ふ、法、則、也、○大縣、小縣、是、を、オホ、ア、ガ、ク、

ア、ガ、ク、ト、訓、ナ、ト、ま、り、和名抄河内國郡名大縣、於保加多、信濃國郡名、小縣、知
比、佐、加、多、あ、ど、の、例、を、見、る、べ、し、名義ハ、領地ノ轉、り、領字ノ轉、り、何、ま、不、す、れ、十
より、タ、を、轉、り、る、ハ、扱、字ノ轉、り、む、と、お、ぼ、し、ま、り、朝野群載七、大和國山
邊郡、宇、池、上、庄、田、地、云、々、大神宮雜事記、宇、御、瀬、川、云、々、宇、保、留、万、川、あ、ど、の、字
ハ、て、後、不、字、ト、云、る、ハ、畔、名ノ轉、り、又、地、を、十、と、云、る、ハ、大、元、年、遷、神、下、ふ、委、
注、る、ガ、如、し、此、二、説、ノ、中、一、領、地ノ方、を、取、り、扱、十、を、タ、不、轉、り、て、領、地、を、縣、ト
云、る、も、上、卷、ハ、伊、那、佐、之、小、濱、を、紀、五、十、田、狹、之、小、河、不、作、り、蠶、實、を、康、賴、本、草
不、加、岐、都、波、奈、ト、注、し、即、垣、内、花、あ、る、を、本、草、和、名、ハ、加、岐、都、波、太、ト、記、し、和名抄
不、劇、草、を、よ、り、即、蠶、實、ノ、一、名、ふ、て、此、花、ハ、燕、子、花、ト、よ、り、似、を、ま、さ、バ、古、人、ハ、心、々
不、名、を、配、り、或、ハ、杜、若、を、ま、さ、へ、よ、り、此、外、花、薄、を、屬、薄、ト、云、栗、々、を、ワ、ダ、ク、ク、ま
ど、扱、舉、不、暇、あ、り、む、此、奈、行、より、轉、り、多、行、ノ、濁、音、以、て、云、濁、ナ、例、ふ、を、或、も
多、行、ノ、清、音、ふ、つ、せ、る、ハ、上、不、濁、音、何、り、ゆ、と、ハ、鼻、聲、不、障、ら、れ、時、不、清、て
タ、ト、云、り、此、差、別、ハ、韵、學、不、精、き、人、ふ、あ、り、む、て、曉、ダ、と、ま、さ、る、の、ど、抑、縣、ハ、國、上
り、分、ち、地、ふ、て、後、不、是、を、郡、字、不、改、給、つ、る、孝、德、天、皇、大、化、二、年、紀、六、郡、を、大、中
小、ノ、三、等、不、領、り、是、上、代、大、縣、小、縣、ノ、姿、を、少、易、給、む、其、後、大、武、元、明、ノ、御
世、ノ、間、ヤ、革、々、ハ、戸、數、を、以、て、大、上、中、下、小、ト、郡、を、五、等、不、分、定、給、つ、る、戸、令、不
見、迄、と、り、此、郡、字、を、コ、ホ、リ、と、よ、め、ハ、朝、鮮、ノ、方、言、を、受、傳、た、る、よ、り、其、證、ハ、訓
蒙、字、會、不、見、迄、と、り、然、不、記、傳、不、縣、ト、云、る、ハ、上、田、ふ、て、供、御、ノ、菜、蔬、を、作、出、せ、り

畑を云ふと云ふは、無誓古を云ふぬ、僻説あり、京地側近の、因ありむふて、菜類
をも作り供りたり、對馬の郡名上縣、下縣をまどめ、うへに遠國等も、朝夕供
る菜蔬を作らむむき、理ふきを思へ、神名式も、歛を進る社へ、畿外へ丹波國、
氷上郡、知乃神社を除て、をさく見さず、是供御の菜蔬を作し、出も御園に近き、
神社あり、予を知りて、縣へ上田之と云ふ、説の非ざるを弁べし、猶縣の予へ、郡名
私考ふ、云ふが如し、○縣主へ、郡司もて、後、大領、少領と云ふ、當り、職名ふ
り、是も此御代に、始、つるふ、ありむ、既、神武紀も、猛田、縣
主、あじ見さく、此、如斯あり、殊更、草定、終、一

○玖拾伍歳紀、スメラミコト天皇御年、玖拾伍歳、御陵、在沙紀
ふ、一十七歳と、スメラミコト天皇御年、玖拾伍歳、御陵、在沙紀
あり、○沙紀之、多他那美紀、之、多他那美也

狹城、盾列、作り、諸陵式、在大和、目添下郡、北城、東西一
町、南北三町、守戸五畑と記し、大和志も、在山陵村とあり、
○帶中、日子、天子、天皇、坐、穴門、之、豐浦宮、
皇へ、後、仲哀、及、筑紫、訶志比宮、治天下也
と謚奉り、○穴門、長門、目

の古名あり、夏上、注り、○豐浦宮へ、長門、目、豐浦郡もて、今長府と云ふ、○訶志
比宮、和名抄も、筑前、目、糟屋郡、香雅郷あり、加須比と注し、筑前、風土記も、哥
襲宮、作り、新續、古今集も、佐保媛の、衣をとまひ、うすむ、海、あどあり、土人の
訛言を、其、終、記し、も、よ、も、一、を、く、紀、不、檀、日、宮、作り、三代、實錄、九、香、推、
廟、も、あり、今、土人、も、カシ
ヒと呼り、此地、御社、あり

○大、江、王、香、坂、此、天皇、娶、大江、王之、女、大、中、津、比、
王、忍、熊、王、何、也、賣、命、生、御、子、香、坂、王、忍、熊、王、柱、又、
も、上、注、り、○娶、息、長、帶、比、賣、命、是、大、后、生、御、子、
品、夜、和、氣、命、紀、品、夜、和、氣、命、次、大、鞞、和、氣、命、亦、名、
ふ、譽、屋、別、作、品、陀、和、氣、命、柱、此、太、子、之、御、名、所、
ま、り、名、義、考、ふ、以、負、大、鞞、和、氣、命、者、初、所、生、時、如、
○大、鞞、和、氣、名、義、次、不、見、也
命名、義、次、不、見、
と、あり、○品、陀、
和、氣、命、紀、不、譽、
田、別、不、作、ま、り、
名、義、次、不、見、也

○古事記標注中卷之下

○御腕和名抄鞆トモ穴シ生アリシ御腕ミタマキニ故ユニニ著ツク其御名ミナミ是以コトヲ知モテ
も注せり、紀のマシヨリ坐腹中國也ミハラヲチニクニ

俗、号鞆謂廣武多と有り、谷川氏、ダ、ほりり手の義と云まじど、ハムルの轉ありづ
一〇知坐腹中國也、御手ヲ鞆の形まじり物の生、生、生、生を思ふ、御腹み坐
時より、神ミコき御徳ミコトクよりて、国を知食シクムとく、叔知食ハ、現み物まじり予との
思ふべし、神の知食も同意あり、や記傳不腹中下、定、字を補へるハ、本
のゆゑ、予て、**此之御世、定淡道之屯家也、其大**
讀えざりて、

○淡道之屯家、**后、息長帶日賣命者、當時歸神故**
の、淡道ハ、淡路、

国々、屯家も上、**天皇坐筑紫之、訶志比宮、將擊熊**
み注り、〇當時

も、ソノラリと、**曾國之時、天皇控御琴而建内宿**
よむ、君興時々、

幸而、真字伊勢、**祢大臣、居於沙庭、請神之命**
二、君興時々、

物語ハ、言、通、時、節、毎、とあり、是ハ、時、字、を、ラリ、と、よめり、例、あり、人、は、く、當時、を、九、恭
紀、ハ、當時、風、俗、云々、雄、略、紀、ハ、當時、まじり、より、今、按、ソノ、カミ、と、云、語、を、昔、と、云、べき、処、ハ、
用、一、つ、り、其、時、と、云、意、ハ、云、り、今、より、後、と、云、ふ、云、り、大、和、物、語、ハ、
行人、ハ、其、の、う、り、來、む、と、ソ、ノ、心、を、心、目、と、ヤ、と、ソ、ノ、別、ま、り、と、あり、是、ハ、死
べき、人、を、よ、め、ま、じ、是、より、行、先、を、ソノ、カミ、と、よ、め、り、真、儀、抄、ハ、その、う、り、を、當
時、と、も、書、り、その、を、り、と、云、り、され、ハ、過、り、方、を、も、今、行、未、を、も、い、ま、む、
と、グ、あ、と、云、り、此、ハ、不、列、り、大、和、物、語、ハ、哥、を、思、ひ、て、今、行、未、を、も、云、々、と
云、り、真、字、伊、勢、物、語、ハ、寂、初、東、鑑、五、十、二、當、初、と、書、き、文、選、潘、岳、ハ、揚、仲、武、謀、序、ハ、
自、時、迄、今、ま、じ、惣、て、昔、と、云、べき、を、云、り、多、し、和、訓、集、ハ、その、う、り、を、昔、時、を、云
ふ、禁、河、書、ハ、久、時、を、よ、め、り、石、上、の、義、み、て、古、く、詞、より、云、り、云、り、え、せ、り、當、時、を
よ、め、り、も、上、昔、の、を、云、て、其、時、と、指、す、詞、あり、と、云、り、此、説、よ、く、云、え、り、貴
中、昔、より、作、出、り、詞、ま、り、ま、じ、古、の、枕、詞、あり、石、上、を、畧、て、ソノ、カミ、と、云、り
も、ち、り、べ、し、如、斯、云、り、記、傳、ハ、此、當、時、を、ソノ、カミ、と、よ、め、り、ダ、非、ず、り、由、也、ハ、
其、由、を、叙、て、改、め、り、〇、歸、神、ハ、神、の、憑、懸、り、終、ふ、〇、熊、曾、ハ、大、隅、國、ハ、
上、ハ、注、り、〇、控、御、琴、ハ、神、靈、を、招、奉、り、祭、式、あり、〇、沙、庭、紀、ハ、審、神、者、を、よ、め、り、政
事、要、畧、廿、八、ハ、審、神、者、言、審、祭、神、明、託、宣、之、語、也、と、り、意、ハ、然、事、あれ、ど、是、を、サ
ニ、ハ、と、云、り、訓、義、ハ、詳、あり、ま、じ、記、傳、ハ、清、庭、ハ、候、人、を、云、り、と、云、ま、じ、是、と、ハ、聞、こ

○大后
歸神を記傳ふ
大后、カムガカ
リシテ、とよめ
る、意ハ然るま
まど、然よほむ
ふハ、為ニ神懸而
とあり、べきま
り○言教ハ記
傳ふ言ハ、事の
借字くと云り
○金銀の金ハ、**琴、不控默坐**
黄金の轉ち、銀ハ白金あり○珍寶ハ尊等して、等とい添、ち辞之、如斯添ふ
る、隨ひて、寶と云、一寐語とい、ち、萬葉十六、寶之子、落産物語、大鏡等
不寶、君空穂物語、吹上、寶、玉、おど見也、金銀等を、タカラと云、ち、同義あり○
歸賜、祈年祭祀詞、ハ、十綱、打、概、引、寄、如、事、云々、寄奉、波とあり、從、依、り、む、
之○默坐の黙ハ、物言、ゆる、み、て、雅俗とも、通、つ、る、を、記傳、ふ、母、階、ハ、平、陀、と、通
ひ、て、徒、然、ち、意、ち、り、し、云、ち、り、非、ち、り、の、ち、り、の、一、向、の、俚、語、を、ま、へ、引、合、せ

○向一道
ハ、一偏、ふ、向、ひ
注、み、て、神、の
御、教、を、承、り、し、
ず、バ、思、不、一、等、
と、ち、方、ハ、微、
注、ハ、一、の、意、ま
久、然、不、記、傳、ふ、
一、道、と、ハ、黄、泉
田、ハ、罷、り、る、ま、
と、云、ち、る、も、甚、
失、考、ち、り、神、功、
記、の、此、の、古、傳、
を、記、せ、り、外、ハ、
速、狹、騰、尊、と、ま、を、す、神、名、を、ま、へ、崩、御、と、や、し、不、聞、吾、と、し、せ、り、れ、甚、怒、り、し、
を、況、て、齋、不、崩、御、と、聞、し、何、ま、は、く、あ、も、御、琴、を、弾、き、し、り、べ、し、是、ち、て、前、説
の、誤、り、を、曉、る、づ、
○阿、蘇、婆、勢、ハ、御、琴、を、弾、き、し、り、と、云、ち、り、み、て、常、語、も、云、ち、
と、あり、○那、麻、那、摩、迹、ハ、生、々、ふ、ち、り、人、御、心、不、進、り、故、を、云、ち、り、○未、幾、久、而、万、葉

於、是、大、后、歸、神、言、教、覺、詔、者、西、方
有、國、金、銀、爲、本、目、之、炎、耀、種、種、珍
寶、多、在、其、國、吾、今、歸、賜、其、國、爾、天
皇、答、白、登、高、地、見、西、方、者、不、見、國
土、唯、有、大、海、謂、爲、詐、神、而、押、退、御
爾、其、神、大、忿、詔、凡、茲、天、下、者、汝、非
應、知、國、汝、者、向、一、道、於、是、建、內、病
祢、大、臣、白、恐、我、天、皇、猶、阿、蘇、婆、勢
其、大、御、琴、自、阿、至、爾、稍、取、依、其、御
琴、而、那、麻、那、摩、邇、以、此、五、字、控、坐、故
未、幾、久、而、不、聞、御、琴、之、音、即、舉、火
見、者、既、崩、訖

四不、不相見者、幾久毛、不有目とあり、を略解ふ、イクバクヒサモと
よめら、ハ非之、月十一日も、相見而、幾久毛、不有目とあり、久々たり

○殯宮の殯ハ、爾驚懼而、坐殯宮、更取國之大奴

將遷葬、極哀遇、之とあり、是を、佐而、字、奴以、音二種種求生、剝逆、剝阿

アラキと、訓了、離、溝埋、屎戸、上通下通、婚、馬、婚、牛

ハ一構、の内を、婚、鶏、婚、犬、婚、之、罪類、爲國之大被

津城と云、城、而、亦建内、病、祢、居於沙庭、請神之

表屋不在、間、命、於是、教覺之、狀、具如先日、凡此

の墓、對、鹿、國者、坐汝、命、御腹、之、御子、所知、國

目、天王寺の邊、者也

り、世ハ茶白山とも云、此山ハ、仁徳天皇、あり、御自、の御墓を築、あり

を以て、荒城の義理を知べ、○目之大奴佐、目ハ諸國を云、大奴佐、名義詳あり

也、是ハ縮布、不、麻、不、禮代、不、神、不、進、又、被、具、も、用、た、人、但、被、具、ハ、器

戒をもち、り、數種、あり、其を惣て、奴佐とい、云、大、神、宮、儀、式、振、不、奴、佐、麻、と、あ

る、麻、の、奴、佐、あり、新、撰、六、帖、今、を、わ、を、も、と、ま、あ、り、ち、ま、ぬ、の、君、う、手

あ、れ、時、ど、あ、ひ、き、と、あ、り、も、お、ち、ト、扱、是、ハ、神、の、御、言、を、請、け、ふ、と、云、此、大

被、も、あり、あり、抑、上、代、忌、服、の、事、聞、と、ず、此、件、の、古、事、を、思、ふ、も、大、被、の、式、あり

て、本、不、復、一、つ、と、察、也、猶、よ、考、べ、○生、剝、逆、剝、ハ、生、ま、り、剝、ハ、逆、さ、ゆ、り、

業、あり、と、云、を、文、不、如、此、云、る、上、卷、逆、剝、天、班、馬、剝、と、あり、又、云、注、ろ、ダ、如、此、

逆、剝、を、記、傳、ハ、尾、方、より、剝、と、い、説、了、ハ、論、不、ち、り、○阿、難、ハ、畔、放、り、て、田、の

畔、を、破、り、塚、を、乱、ま、く、○溝、埋、ハ、上、卷、不、埋、其、溝、と、り、○屎、戸、の、戸、ハ、家、あり、屎

以、家、を、穢、す、を、屎、戸、と、い、云、り、記、傳、ハ、戸、ハ、幣、理、の、理、を、省、り、と、云、ハ、非、あり、

和、名、抄、ハ、尻、を、倍、比、流、痢、を、久、曾、比、理、乃、夜、萬、比、と、あり、如、く、尻、ヒ、ル、彫、ヒ、ル、と、云

ハ、云、り、り、て、尻、へ、ル、彫、へ、ル、と、い、む、抑、此、條、ハ、須、佐、之、男、命、の、犯、り、ゆ、り、御、行

○古事記標注中卷之下

○三十

ども、上代の法律あり、故や○国之大被ハ、国々小布告して、被さるる所あり、下民不
久抑被ハ、凶惡を拂棄て、吉善不移るの、重き神罰をまゐり、朝廷よりして、下民不
至るまで、家毎不、分限の被ハ、行まれしを、
世と共に衰へつるハ、浮屠の所為く

○神腹ハ、皇后
の御腹あり記
傳ハ、今神の著
らせまば、然申
と云、り○此時
三柱云々、記傳
ハ、御名の頭は
るとハ、先度ハ、
命を讀奉り
時ハ、御名割
無く、何神とも、
知らまざり
を、此度問奉り
一ハ依て、始り
今寔思求其國者、於天神地祇亦
三柱大神者也、此時其三柱大神
御心者亦底筒男中筒男上筒男
具請之、今如此言教之、大神者欲
知其御名即答詔是天照大神之
腹之御子、何子歟、答詔男子也、爾
爾建内宿禰、白忍我大神、坐其神

て如此、御名告
一柱つるを、云
あり、べーと云、
り○其回ハ、三
韓之○天神地
祇案ハ出陣不
神を祭るハ、皇
目の古例にて、
神武紀ハ、磯城ハ十梟帥を討つ時、丹生川上ハ、天地神祇を、祭り終ひ、孝靈段
ハ、於針間氷河之前、居忌免云々、崇神段ハ、於九迹坂居忌免、あど猶例多し、○
我之御魂ハ、三柱大神之○真木ハ、神代紀ハ、被、字をより、○比羅傳ハ、神武紀
ハ、葉盤をより、大嘗祭式ハ、笠形、葉盤と云も有、て、今ハ大嘗祭ハ、葉盤ハ、栢葉と
竹針ハ、圓く平ハ、造ると云、り、此物等を海ハ、浮ぶ
るハ、神心ハ、深、理、あ、れ、ど、其、所、以、ハ、知、り、ぞ、し、
○負御船ハ、魚
持揚了状ハ、○
御船之波瀾ハ、
海原之魚不問大小悉負御船而
故備如教覺整軍雙船度幸之時、
之御魂坐于船上而真木灰納瓠
亦箸及比羅傳、此三字多作皆皆
散浮大海以可度

○古事記標注中卷之下

○三十一